HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北大構内の遺跡 9 平成2年度
Issue Date	1991
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/62678
Type	other
File Information	HokkaidoUniversityCampusSites09_H02.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

HOKKAIDO UNIVERSITY CAMPUS SITES/ 1991

北大構内の遺跡

平成2年度

9

北海道大学

北大構内の遺跡

HOKKAIDO UNIVERSITY CAMPUS SITES

[9]

平成２年度

北海道大学

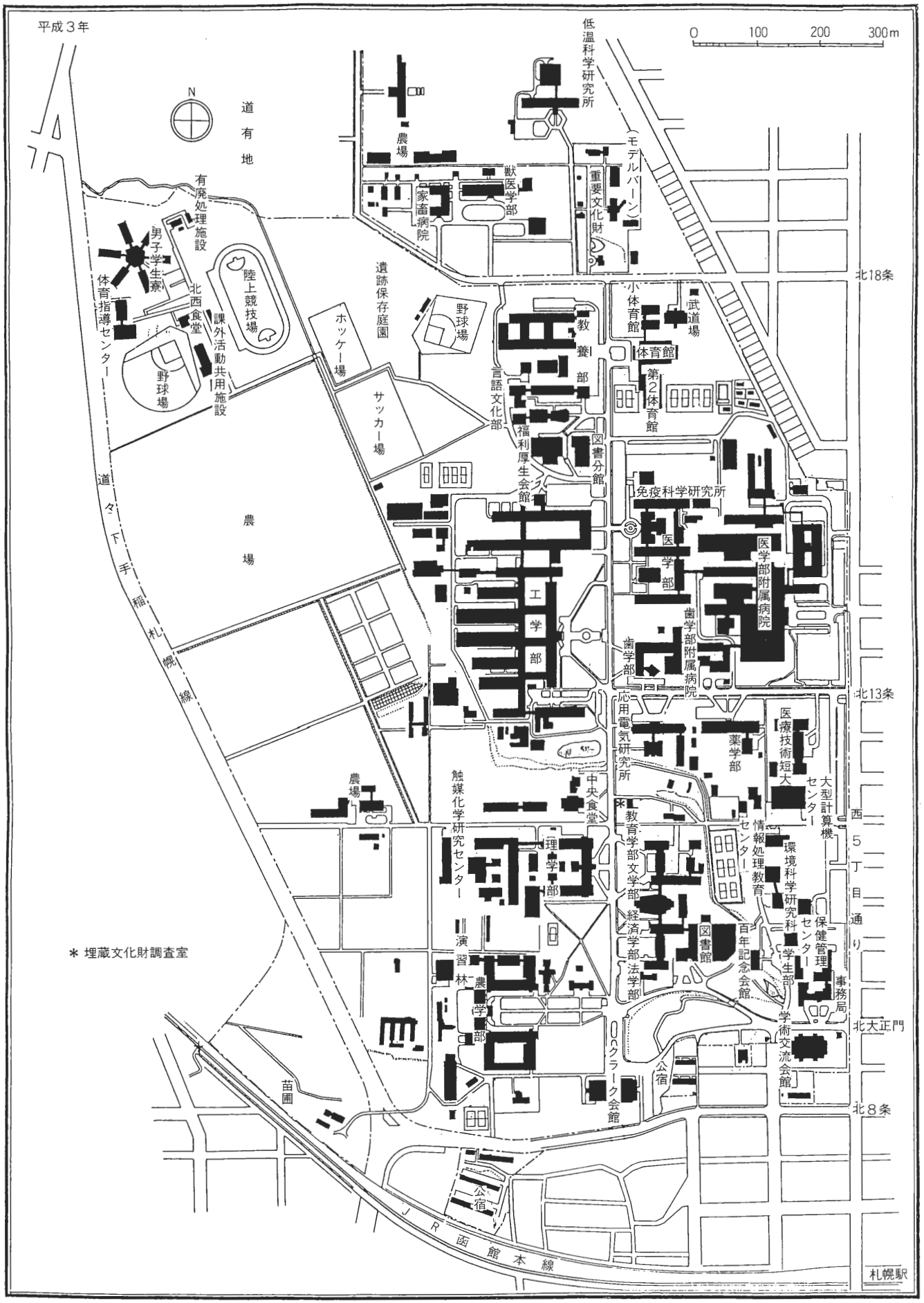
目次

平成２年度事業報告
Ⅰ-1 立会および予備調査など実施事業の報告 ―― 5
Ⅰ-2 学外に対する活動 ―― 6
Ⅰ-3 工事立会による調査 ―― 6
Ⅰ-4 平成２年度に実施した予備調査 ―― 10
Ⅱ-1 寄贈図書目録　1980年～1990年 ―― 16
あとがき ―― 40

《図目次》

第１図　北海道大学構内施設配置図 ―― 4
第２図　北海道大学埋蔵文化財調査室展示ルーム ―― 6
第３図　北海道大学構内配電線路（Ｆ304）改修工事 ―― 7
第４図　北海道大学構内道路補修その他工事 ―― 7
第５図　北海道大学札幌地区情報ネットワーク設備工事 ―― 7
第６図　北海道大学農学部附属牧場乳牛育成舎新築工事地点の試掘溝 ―― 9
第７図　北海道大学農学部附属牧場牧草地改良工事地点の地層 ―― 9
第８図　北海道大学農学部附属植物園旧庁舎給排水改修工事 ―― 9
第９図　北海道大学剣道場工事候補地試掘溝 ―― 9
第10図　北海道大学剣道場工事候補地試掘溝掘削地点 ―― 10
第11図　北海道大学南新川公務員宿舎付近地形図 ―― 12
第12図　北海道大学南新川公務員宿舎各試掘溝断面略図 ―― 12
第13図　北海道大学南新川公務員宿舎試掘溝削作業 ―― 14
第14図　北海道大学南新川公務員宿舎No.３試掘溝で検出された文化層とみられる炭化物層 ―― 14
第15図　北海道大学南新川公務員宿舎の試掘で発見された噴砂の痕跡 ―― 14

第１図　北海道大学構内施設配置図



平成２年度事業報告

Ⅰ-1　立会および予備調査など実施事業の報告

（1）　平成２年度に北大埋蔵文化財調査室が実施した屋外調査は，以下に示した７地区の工事立会，４地点の予備的試掘である。

《平成２年度に実施した工事立会》

工事名称　北海道大学埋蔵文化財調査室電話ケーブルルート変更工事
調査日時　平成２年４月19日～平成２年４月26日
作業地区　札幌団地埋蔵文化財調査室南側
調査面積　6.4㎡

工事名称　北海道大学構内配電線路（Ｆ304）改修工事
調査日時　平成２年10月23日～平成２年11月17日
作業地区　札幌団地言語文化部～課外活動共用施設
調査面積　565.76㎡

工事名称　北海道大学札幌地区情報ネットワーク設備工事
調査日時　平成２年10月29日～平成２年11月24日
作業地区　札幌団地獣医学部管理研究棟・獣医学部放射線棟・教養部Ｎ棟・教養部Ｅ棟・図書分館・工学部前・医学部中央研究棟・大型計算機センター
調査面積　534.34㎡

工事名称　北海道大学構内道路補修その他工事
調査日時　平成２年10月26日～平成２年11月15日
作業地区　札幌団地図書館本館前道路
調査面積　307.56㎡

工事名称　北海道大学歯学部他電話幹線改修工事
調査日時　平成２年11月17日～平成２年11月28日
作業地区　札幌団地薬草園・歯学部他
調査面積　5.7㎡

工事名称　北海道大学農学部附属植物園旧庁舎給排水改修工事
調査日時　平成２年12月３日～平成２年12月４日
作業地区　農学部附属植物園
調査面積　6.6㎡

工事名称　北海道大学教育学部テニスコート造成工事
調査日時　平成２年10月12日～平成２年12月７日
作業地区　札幌団地教育学部北側
調査面積　13.66㎡

《平成２年度の予備調査》

工事名称　北海道大学農学部附属牧場乳牛育成舎等新営その他工事
調査日時　平成２年６月27日
作業地区　日高管内静内町字御園111
農学部附属牧場
試掘面積　約６㎡

工事名称　北海道大学剣道場建設工事候補地
調査日時　平成２年９月17日～平成２年９月21日
作業地区　札幌団地現体育館東側本部管理地
試掘面積　70㎡

工事名称　北海道大学南新川公務員宿舎９号棟受水槽室新営その他工事
調査日時　平成２年11月５日
作業地区　札幌市北区北23条西13丁目１番地
南新川公務員宿舎駐車場
試掘面積　24㎡

工事名称　北海道大学教養部（仮設講義棟）新営工事
調査日時　平成２年11月６日
作業地区　札幌団地教養部Ｓ棟西側
試掘面積　34.8㎡

（2）　屋内作業ほか

これまでに構内で発掘採集された資料の整備作業を，継続実施している。とくに，土器については，石膏の充填作業を中心に，展示資料として展示・保管するための整備修復作業を行なった。

I-2　学外に対する活動

調査室収蔵資料が蓄積整備されてきたため，学外から資料の見学や研究についての問い合わせなどを含む交流活動が活発になってきている。この分野に関する主たる活動は次のとおりである。

a：一般見学者 ……238名
b：研究を目的としての来室者……64名
c：各種研究機関からの問い合わせ……40件
この中には，ハバロフスク博物館およびウラジオストック考古民族研究所より出土炭化種子同定の依頼が含まれている。
d：山形県県立博物館より特別展に展示するため続縄文式土器ならびに「夷」文字土器の短期貸出し要請があった。
期間……平成２年８月より同年10月末まで
e：北海道教育委員会文化課より本年12月に北海道庁ロビーにおいて実施する埋蔵文化財に関する短期展示に使用する目的で，構内遺跡出土種子の走査電顕写真の提供依頼があり作成提供。
f：６月20日サハリン州立博物館副館長シュービン氏来室。サハリンと北海道の先史時代文化の比較研究に関する小集会を開催。
g：カナダ・トロント大学 G. Crawford 助教授６月25日に来室。調査室収蔵の出土炭化種子の研究のため８月まで滞在。

第２図　埋蔵文化財調査室展示ルーム



I-3　工事立会による調査

1：北海道大学埋蔵文化財調査室電話ケーブルルート変更工事
調査日時　平成２年４月19日～平成２年４月26日

現状付近は擦文時代竪穴分布域に近接するので，立会調査を行なった。

[調査結果]
しかし，掘削部分では，その溝底面までコンクリート塊を含む廃棄土の堆積がつづき，原堆積土層は確認出来なかった。以上の所見に基づき，工事は差し支えないと判断された。

2：北海道大学構内配電線路（Ｆ304）改修工事
調査日時　平成２年10月23日～平成２年11月17日

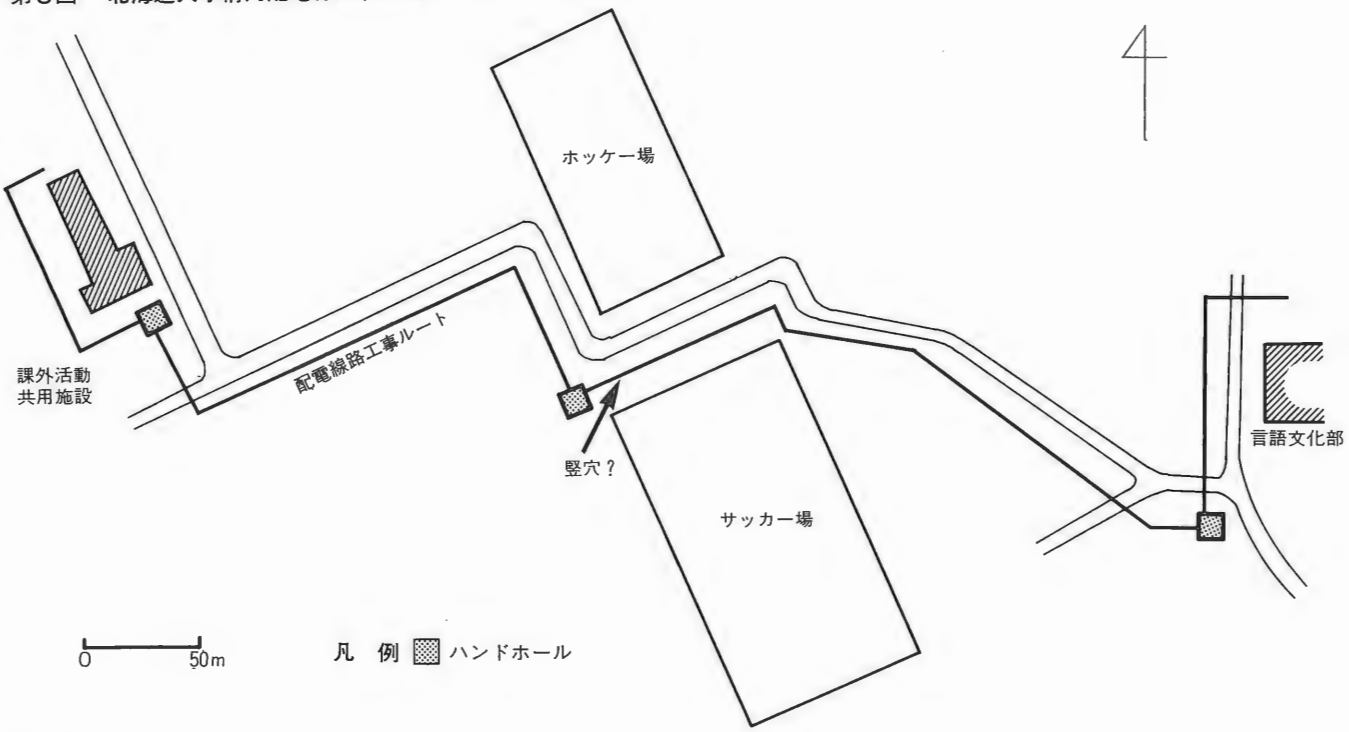
言語文化部から課外活動共用施設にかけて，道路南側の路肩を主として延長800ｍにわたり，幅70cm，深さ70cmの埋設溝掘削が行なわれた。

[調査結果]
立会調査の結果，その殆どの掘削部分は，道路構築時の再堆積土で，埋蔵文化財の包含を予測させるような原地層は確認出来なかった。ただ，サッカー場に隣接した掘削部分の溝底のごく一部に，黒色の腐植質土層が観察できる箇所があり（第３図矢印部分），これが竪穴住居の埋積土である可能性が考えられた。しかし，この部分の掘削溝は送電線のみの埋設であり，もしこれが竪穴住居であったとしてもその構造や文化層を破壊する状況にはないので，工事進行に支障はないと判断された。ただし，将来，この部分に道路の再構築や大型の共同溝などの設置が計画される場合には，発掘調査を実施しておかなければならないであろう。

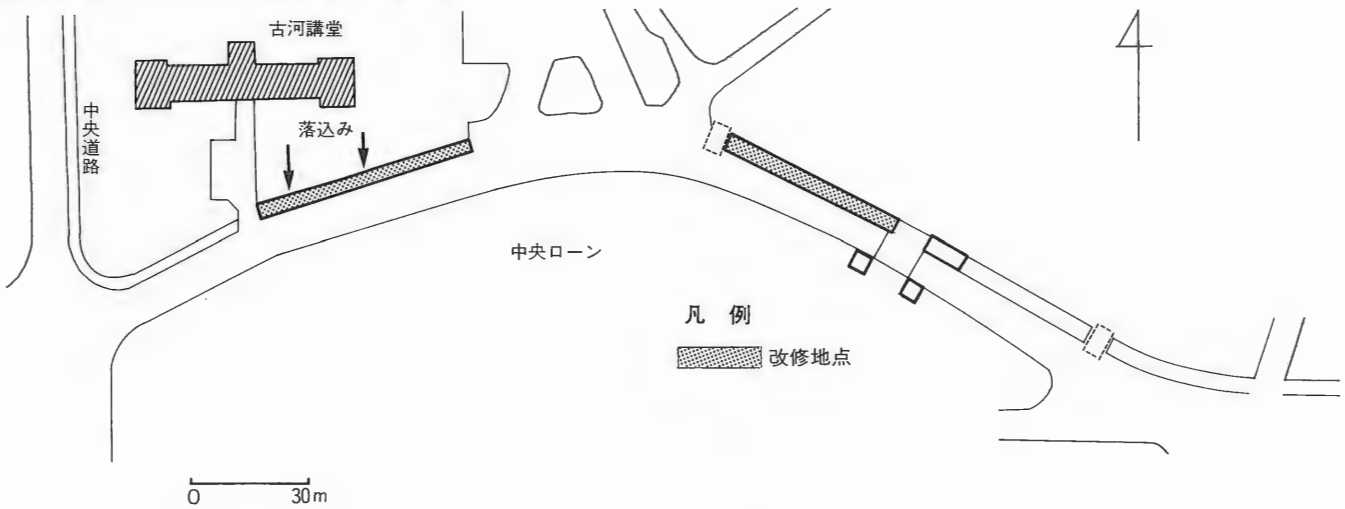
3：北海道大学札幌地区情報ネットワーク設備工事
調査日時　平成２年10月29日～平成２年11月24日

第５図に示したようなハイネス埋設溝が，獣医学部南西側，教養部Ｎ棟西側，医学部中央研究棟西側，大型計算機センター前に掘削されたので立会調査を実施した。

第３図　北海道大学構内配電線路(F304)改修工事



第４図　北海道大学構内道路補修その他工事



第５図　情報ネットワーク設備工事



［調査結果］

掘削溝は幅60cm，深さ70cmである。今回掘削された部分は，全て溝底まで廃棄土層，または埋め土であった。また，獣医学部敷地内に2箇所設けられたハンドホールにおいては，現地表下80cm～108cmから青灰色の粘土層となり，きわめて湿潤な状況下で堆積生成した地層であることが明らかである。教養部N棟および言語文化部の西側にそれぞれ掘削されたハンドホールも，ほぼ同様の堆積状況である。通常，札幌団地においては，こうした性格の粘土層は，遺跡ののる微高地の基底に見られるものである。したがって今回のハイネス関連工事区域内の掘削は，埋蔵文化財保護の観点から見て格別の支障はないものと判断された。

4 ：北海道大学構内道路補修その他工事

調査日時　平成2年10月26日～平成2年11月15日

図書館本館前の基幹道路補修に関係する工事である。立会調査を実施したのは，中央ローンにかかる橋梁の石積擁壁改修部分，図書館本館前に残っていたニレ風倒木の抜根作業部分，古河講堂前の道路側溝改修部分である。

［調査結果］

立会調査の結果，橋梁石積擁壁改修部分は全て二次的な埋積土であり，また隣接したニレ風倒木の抜根地点は，河川性のソーティングの良い黄褐色砂層であって工事の進行は何ら差し支えないと判断された。

古河講堂前の側溝は以前から設置されていたものの改修で，旧側溝を除去して幅220cm，深さ45cm～50cmの整地が実施された。この際，第4図矢印に示した地点に，黒色腐植土の落ち込みが観察されている。西側のものは，側溝中に東西の幅320cmで見られ，現在の道路面より－80cmから認められる。東側のものは側溝中に幅5.5ｍにわたっており，現在の道路面より－65cmから認められた。ただし，道路面自体は構築時の盛り土上に作られているので，隣接する地表面より30cm～35cmほど高い。もちろん，この地域は，北大として古くから開発されていた部分であるから，原地表がどのあたりに位置していたかは明確でない。しかし，古河講堂前の芝生面が旧地表面から余り極端な削剥を受けていないとすれば，これらの土層中にプライマリーな文化財の包含層準が残っている可能性が高い。また，その立地状況はサクシュコトニ川の流路に面する微高地である。こうした点から考えて，この落ち込みが単なる自然のくぼみではなく，擦文時代の竪穴住居に関連するものである可能性が十分にある。ただし，立会時と若干のテスト掘りの際には，文化遺物は全く検出されていない。

今回の工事部分は，ほぼ道路の盛り土部分の掘削であるし，その上部に恒久的な建造物が建設されるわけでもないので，作業を続行しても差し支えないと判断した。しかし，今後この地域に大きな掘削を伴うような工事が計画される場合には，事前に正式な発掘調査を行なう必要があろう。

5 ：北海道大学歯学部他電話幹線改修工事

調査日時　平成2年11月17日～平成2年11月28日

札幌団地薬草園から歯学部にかけての地域の長さ900cm，幅50cm，深さ70cmの掘削工事である。

［調査結果］

立会の結果は，工区全てが埋め土部分であり，かつ既設ケーブルが埋設されているので，文化財保護上には何ら問題がないと結論された。

6 ：北海道大学農学部附属植物園旧庁舎給排水改修工事

調査日時　平成2年12月3日～平成2年12月4日

植物園旧庁舎から現在の庁舎にかけて給排水管埋設のために深さ100cmの掘削溝工事が行なわれるので，立会調査を実施した。

［調査結果］

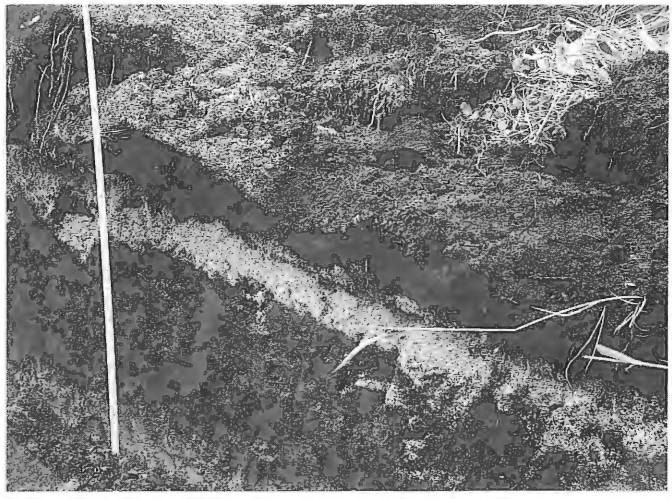
掘削溝の観察では，河川起源の砂層が連続しており，文化財を包蔵する地層の確認は出来なかった。また，ここで観察された砂層は人為的に持ち込まれた可能性がある。

植物園内は，旧地形面をよく残す部分があり，小河川の流路に沿って遺跡が広がっていることが知られている。地表から観察出来る擦文時代の竪穴住居のくぼみも，少なくとも3地点確認されている。したがって，将来とも園内工事の際には，十分な予備調査を実施する必要があろう。

第６図　農学部附属牧場乳牛育成舎新築工事地点の試掘溝



第７図　農学部附属牧場牧草地改良工事地点の地層



第８図　農学部附属植物園旧庁舎給排水改修工事



第９図　剣道場工事候補地試掘溝



7：北海道大学教育学部テニスコート造成工事

調査日時　平成２年10月12日～平成２年12月７日

教育学部の北側に接してテニスコートの造成が計画され，同学部より連絡があったので，この地域は埋蔵文化財包蔵地であるため，地表より50cm以上深く掘削しないように協議をおこなった。ただし，コートに巡らすフェンス支柱部分は，構造上若干深めに掘削する必要が生じたため，施行時に立会調査を実施した。

［調査結果］

立会の結果，どの支柱部分の掘削も埋め土部分だけで予定深度に達したため，今回の工事では埋蔵文化財保護上格別の問題の生じないことが確認された。

この地域は，地表より－80cm以深には破壊を免れた埋蔵文化財の包含層が残されており，今後の工事には格別の留意が必要である。

Ⅰ-4　平成２年度に実施した予備調査

1：北海道大学農学部附属牧場乳牛育成舎等新営その他工事

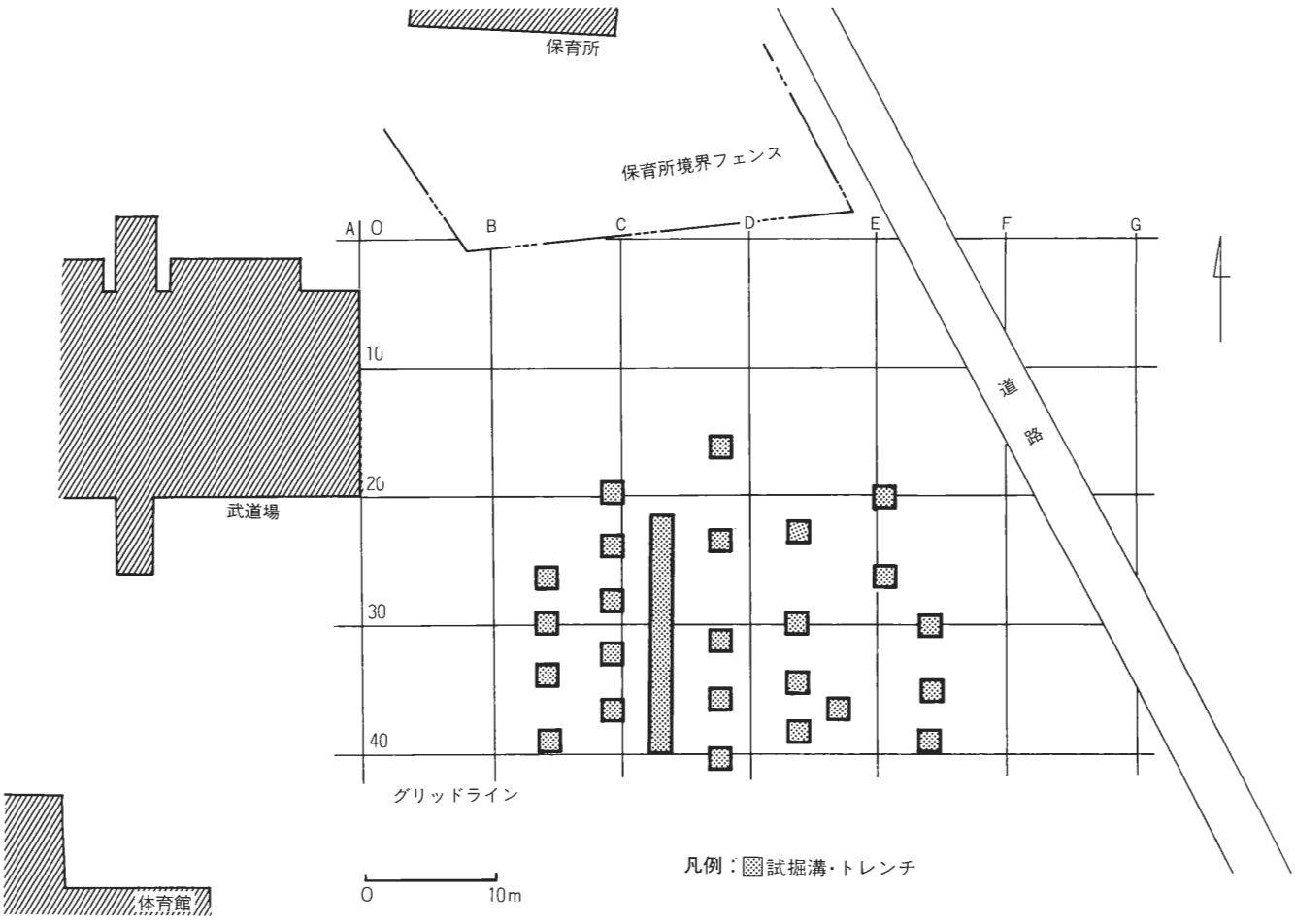
作業地区　日高管内静内郡静内町字御園111
農学部附属牧場

調査日時　平成２年６月27日

附属牧場は，静内川の支流ケパウ川（１：25,000国土地理院発行地形図では日高目名川となっている）の低位氾濫原と，それを取り巻く丘陵に位置している。氾濫原上には牧場庁舎などの設備があり，これと道路を隔てた東側草地内に，乳牛育成舎の新設が計画された。また，同年次に，氾濫原に接する丘陵地帯の草地の新規造成および改良事業が実施されることになった。

これまで，静内川本流域からは，縄文時代から近世までの各種の遺跡が多数報告されている。だが，支流のケパウ川筋については，遺跡分布に関する情報が皆無であった。それで，今回の工事に先行して

第10図　北海道大学剣道場工事候補地試掘溝掘削地点



牧場敷地内の埋蔵文化財の分布調査を実施，計画進行の基礎資料とすることにした。

試掘調査地点には，草地造成地域の丘陵上で谷沿いの比較的平坦な地点が３箇所選ばれた。各々の地点に，長さ200cm，幅100cm，深さ100cmの試掘溝を掘削し，文化層の有無を調べるために，土層の堆積状況や人為遺物の痕跡などにつき精査をおこなった。

［調査結果］

試掘の結果，どの地点においても，地表から30cmまでが黒色森林土壌，その下部に厚さ15cmで浮石質の樽前Ｂ火山灰が堆積，さらに下位には安山岩質の風化土壌が１ｍほど続き，やがて角礫の多い層に移行することが確認された。また，これら各層中に炭化物層や文化遺跡の挟在は認められなかった。

試掘作業の後，丘陵一帯の地表露出部分で遺物の確認調査を実施したが，人工遺物は全く検出出来なかった。ただ，小河川に隣接した自然堤防上に，ガラス瓶の破片が散乱している地点が２箇所注意されたにとどまる。採集されたガラスの性状や瓶の形態から，これらの瓶はごく最近のものではないと思われたが，少なくとも明治期にさかのぼる特徴はみられない。したがって，ガラス瓶の破片は，この地域に入植した開拓民か，初期の林業関係者の残したものと考えたい。

乳牛育成舎新設予定地点は前述したとおり，ケパウ川の氾濫原上である。この地点に手掘りで試掘溝を設定し，土層の状況を観察した。その結果，30cm程の厚さの壌土下には樽前Ｂ火山灰層が堆積しておらず，ただちに河川礫が現われることが確認された。こうした状況から判断すると，氾濫原一帯には近代以前の文化財に関連するような遺構や遺物の存在する可能性が全くないものと思われる。

２：北海道大学剣道場建設工事候補地

作業地区　札幌団地現体育館東側本部管理地
調査日時　平成２年９月17日～平成２年９月21日

札幌団地内に剣道場の新設計画案が持たれたが，その建設地点候補地の一つとして，現体育館東側の林地が最有力となった。だが，この地域は，かつて昭和61年６月に発掘調査した学生部体育館建設予定地（現第２体育館）の続縄文時代遺跡[1]から，北北東方向に約50ｍしかはなれていない。また，双方の地形面の比較してもよく連続しており，ほとんど差が認められない。したがって，この地域を建設地点候補として確定する以前に，あらかじめ埋蔵文化財の有無を調査した。

［調査結果］

現地は，昭和27年頃には公務員住宅が立ち並んでおり，その後これが除去されて雑木林地となった地域である。調査は武道場の一側壁を基準ラインとして10ｍグリッドを設定。その中の建物外郭予定線内に２ｍ×２ｍのテストピット24個，２ｍ×20ｍのトレンチ１個を設定して実施した(第10図)。これらのテストピットやトレンチは，立木を避けて設定したので，必ずしも規則的な配列になっていない。

試掘調査の結果，その殆どのテストピットに昭和20年代と見られる塵芥処理穴と河川礫やレンガあるいはコンクリートなどの建造物基礎の残骸が見られた。また，当初予想していた状態と異なり，原地表の人為的な削剝が著しい。通常，この地域においては，表層に発達する黒色腐植土層下半部とその下の褐色粘土層中に広がる薄い炭化物層から擦文時代の遺物が検出されるのである。だが，この人為的削剝のために表層の黒色腐植土層が逸失している部分が多かった。また，その下層の褐色粘土層中にも文化遺物の包含を意味する炭化物層は見られなかった。したがって，この予定区画地内には，埋蔵文化財を一次的に包蔵する層準は欠如しているものと判断される。

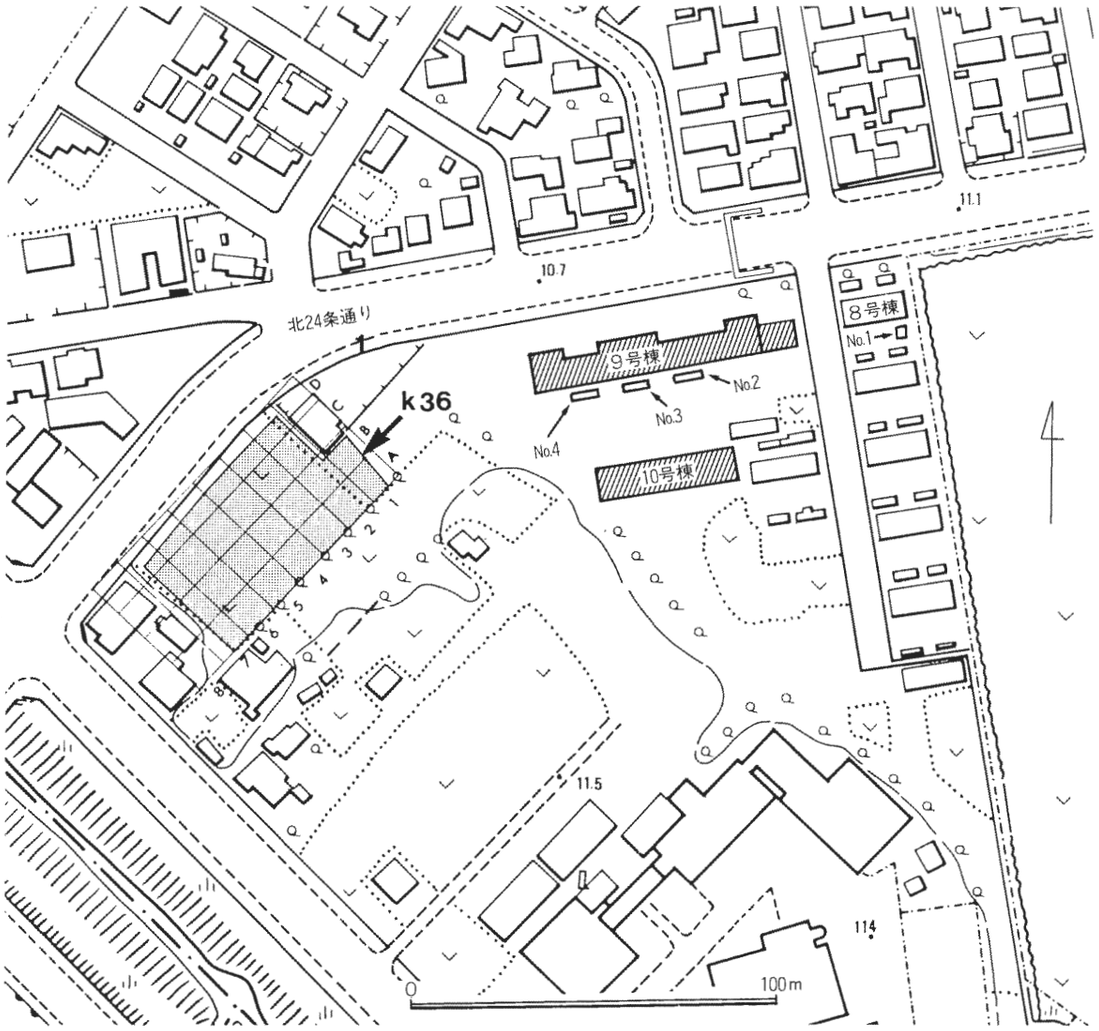
３：北海道大学南新川公務員宿舎９号棟受水槽室新営その他工事

作業地区　札幌市北区北23条西13丁目１番地
　　南新川公務員宿舎駐車場
調査日時　平成２年11月５日

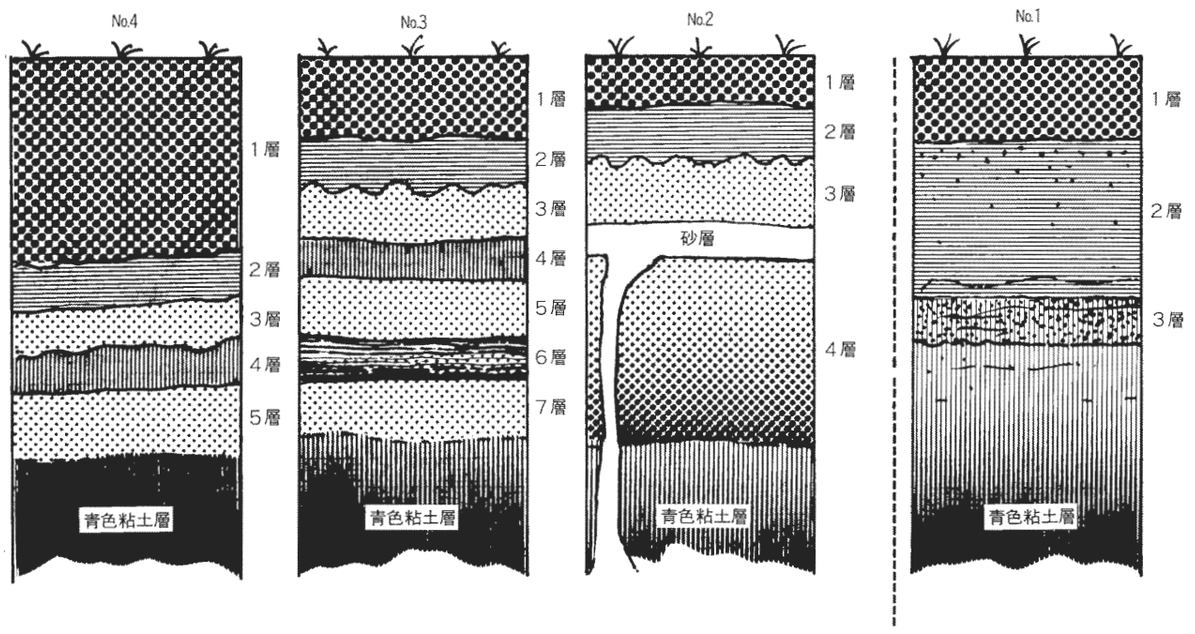
上記地区の９号棟北側に受水槽の新営と同棟の南側10号棟との間に排水桝設置と簡易舗装が計画された。この地域は，札幌市埋蔵文化財台帳[2]に登録されているＫ36遺跡およびＫ120遺跡に隣接している。また，昭和61年５月から６月には，９号棟西側に接するＫ36遺跡の一部である北23条西14丁目地点が，札幌市教育委員会の文化財担当者によって発掘調査され，５軒の擦文時代竪穴住居と２基の焼土が検出されている[3]。

工事が予定されている宿舎敷地は，前述したようにその西側に接してＫ36遺跡がある。遺跡と宿舎敷

第11図　北海道大学南新川公務員宿舎付近地形図（札幌市埋蔵文化財センター作成図を改変修整使用）



第12図　南新川公務員宿舎各試掘溝断面略図



地の間は，約１ｍの高さの段丘崖の痕跡らしきものがみられ，前者の方が若干高い地形面となっている。段丘崖らしきものの裾はきわめて湿潤で，降雨時には排水路状を呈していた。

こうした地形から考えて，当初，工事予定地区は河川浸食の影響が強く，遺跡の存在する可能性が少ないと見られていた（第11図）。

［調査結果］

現地踏査の結果，９号棟北側に予定された受水槽の新営地点には，すでに給排水管などが埋設されており，試掘の必要がないと判断された。それで８号棟南側に150cm×150cmの試掘溝を１箇所（No.1），９号棟南側西寄りに150cm×300cmのものを３箇所（No.2～No.4）設定し，掘削した（第11図）。

No.１試掘溝は，地表から第１層が腐植質を多く含む黒色土30cm，その下第２層が50cmほどの黒灰色粘土層，第３層は褐鉄鉱の多い褐色粘土層となっている(第12図)。各層準全体を通じきわめて湿潤な環境下に堆積生成したもので，文化層が挟在した痕跡は見られない。

No.２試掘溝は，地表より第１層が灰褐色火山灰層で約30cmの厚さを持つ。人為的に埋め土として運ばれてきたものであろう。第２層は，かつての地表を示すと思われる灰色がかった黒褐色土層が10cm～20cmほど。この層の下半部は不規則に変化しながら第３層に移行する。第３層は褐鉄鉱粒を含む灰褐色粘土層が約30cm，その下に層厚の一定しない砂層が広がっている。この砂層は，第４層の黒褐色土層とその下の茶褐色粘土層さらに最下位の還元性の青色粘土層を貫き，これらより下位の地層から噴出してきたものなので，層序番号からは除外しておくことにしたい(第12図No.２)。第４層は黒褐色土層で，40cmほどの厚さを持つ。その下端は，褐鉄鉱を含む黄褐色粘土層に漸移し，最下位の青粘土層にかわる。

No.３試掘溝は，基本的にはNo.２試掘溝と同様な堆積状況を見せる。地表より第１層が２次的に持ち込まれた灰褐色火山灰層30cm～40cm，第２層はかつての表層を示すと思われる灰色がかった黒褐色土層で15cm～20cm。第３層は約10cmほどの漸移層で，灰褐色粘土層。ところどころに高師小僧に似た褐鉄鉱のブロックを含んでいる。この層の下に第４層として分類された炭化物片の比較的多い10cm～15cm程の厚さで黒褐色土層がくる。第５層は厚さ20cmほどの灰褐色粘土層。この層の下端から炭化物片の多い黒褐色の第６層が13cm～15cmの厚さで続く。この第６層は上端と下端に炭化物が多く見られ，中央部に少ない傾向がみられるので，２層に分割出来る可能性が残される。この層の下部は灰褐色で褐鉄鉱の多く含まれる粘土層が25cmほど続き，還元性の青色粘土層にかわっていく。

No.４試掘溝は表層から第１層が80cm～90cmの積み土。その下に第２層の約20cmの黒褐色土層。第３層は15ほどの灰褐色粘土層で，褐鉄鉱粒を含んでいる。第４層は腐植質の多い黒色土層が10cm。その下に灰褐色の粘土層が30cmほど続き，次に還元性の青色粘土層に変化する。

はなれているNo.１試掘溝は別として，No.２，No.３，No.４の試掘溝においては，第１～第４層および最深部に発達する青色粘土層の各層は，この地域に共通の層準として分類が可能である。しかし，No.３試掘溝に見られた炭化物の多く含まれる第６層は，他の試掘溝では欠落していた。この試掘溝では他の地点に比べて第４層の発達が悪く，また，それ以下の層準レベルが他の試掘溝より若干浅い所に位置していることが判明した。おそらく，No.４試掘溝とこの地域に隣接する比高１ｍの段丘崖の間に埋没した小河川が存在し，No.３試掘溝はその自然堤防部分に位置しているものと考えられる。No.２試掘溝からNo.１試掘溝にかけては，緩やかに低湿地に向けて傾斜していくのであろう。

北大構内と隣接する札幌市の北区一帯には，西暦４世紀頃からの遺跡が分布しているが，その大部分は，ここに見られたような小河川の自然堤防上に集落跡の見出されることが多い。札幌市埋蔵文化財センターが平成２年度に発掘調査したK-435遺跡（札幌市北区北24条西12丁目ほか―旧北海道大学農学部附属農場）は，今回の調査地区のすぐ北側に隣接する遺跡であるが，ここで文化財が包蔵されていた地層は上層が3a-c 層，下層が5a 層として分類されている。この両層とも人間活動を物語る炭化物片が多く含まれ，擦文時代の竪穴住居も検出された。今回調査したNo.３試掘溝に見られる第４層と第６層は明らかにこれらの文化層に類似し，共に炭化物片が多く

第13図　南新川公務員宿舎試掘溝掘削作業



第14図　No.3試掘溝で検出された文化層とみられる炭化物層



第15図　南新川公務員宿舎の試掘で発見された噴砂の痕跡



含まれることが特徴であった。この特徴と自然堤防上にのった立地環境は，この一帯がかなり高い確率で遺跡の範囲に含まれていることを物語っている。

こうした観察データに基づき，工事計画を変更して遺跡の保護にあたることにした。そのため，札幌市の文化財担当者と協議のうえ，排水桝の設置予定場所を埋没している自然堤防の位置から大幅に移動させ，直接文化財の埋蔵されている層準を破壊されないように配慮した。

また，地表の簡易舗装については，第１層の埋め土表土のみに関係するものなので，特に文化財の包含されている可能性のある地層には影響がないと判断，工事を続行するように指示しておいた。

―古地震資料―

第３層と第４層の間に見られる不規則な砂層は，明らかに地震現象の一環として見られる噴砂現象の痕跡である。同じような形態を示す噴砂の痕跡は，札幌市埋蔵文化財センターが平成２年度に調査した北大第２農場など，札幌市の北区の沖積氾濫原に分布する複数の遺跡で観察されている(4)。だが，これらの遺跡で観察された現象が，全て同時期の所産なのか，また，どの地震に伴っておきたものであるのかについては，まだはっきりしていないらしい。しかし，札幌市内において，このような噴砂が，樽前Ｂ火山灰を貫いているという観察例があるので，この火山灰の降灰年代である西暦1600年より新しい時期に発生した大型地震がその原因であった可能性が考えられる。もし，この推理が正しいとすれば，該当する地震は，天保５年（1834年）１月１日に発生した石狩沖地震が有力候補であろう。今後このような地震考古学関係資料の調査例が増加すれば，現在の地震対策上からみても興味深いデータとなり得るであろう。

4：北海道大学教養部（仮設講義棟）新営工事

作業地区　北海道大学札幌団地教養部西側隣接地
調査日時　平成２年11月６日

教養部入学者数の増加に伴う仮設講義棟の新営工事である。教養部Ｓ棟西側に道路を隔てて隣接する雑木林の中には，竪穴住居の存在を示す凹地が３箇所ほど観察されるので，予定される工事地区が遺跡の範囲にかかっている恐れがあり，その確認のために試掘をおこなった。120cm×400cm，深さ80cmの試掘溝を１箇所，120cm×500cm，深さ180cmの試掘溝を５箇所設定し，土層の堆積ほか埋蔵文化財の有無について調査を実施した。

[調査結果]

どの試掘溝においても，かつての地表部分が削り取られており，その後に50cmから70cmほどの厚さで埋め土（廃棄土）がのせられていた。この埋め土層の下に，粒子の細かい黄褐色の砂層が70cm～80cm続き，やがて還元性の青色粘土層にとってかわる。黄褐色砂層はかなり乾燥しており，通常この地域においては遺跡をのせる地形面に良く見られる性状を呈していた。しかし，遺物を含む可能性のある炭化物層や焼土層は全く検出できなかった。

おそらく，埋蔵文化財を包含していた層準がすでに削剝をうけ除去されていたため，遺物が検出されなかった可能性が強いと考えられる。地層の状況から考えて，隣接する地域には竪穴住居など当時の地表から掘り込まれた遺構底部が残っているケースがあり得るだろう。だが，今回予定された地域については，原地層の破壊が著しかったので，埋蔵文化財調査の必要はないものと判断される。

注；

(1) 北大構内の遺跡［６］24～43頁　1988
(2) 札幌市埋蔵文化財台帳（付　分布図）
札幌文化財調査報告書II　1989
(3) K36遺跡　札幌市文化財調査報告書ＸＸＸIII　1987
(4) K441遺跡―北34条地点―
札幌市文化財調査報告書ＸＸＸⅫ　1989　8～23頁

II-1　寄贈図書目録　1980年～1990年

北海道大学埋蔵文化財調査室が開設されてから，本年度で10周年を迎えた。この間，多数の研究者，博物館や埋蔵文化財調査センターなど各地の研究機関，教育委員会から，報告書をはじめ多数の紀要や各種の印刷物を寄贈して頂いている。これらの文献は，当調査室の作業を遂行する上に欠くことのできない重要な資料となっており，まことに感謝にたえない。寄贈文献は，発掘された資料同様すべて当調査室に保管され，地域別，機関別に書架に収納され，本学関係者以外の方々にも利用して頂けるように整備されている。ここでは，調査室開設以来平成２年12月末までに寄贈された文献の目録を紹介しておきたい。

文献目録の作成要領は下記の通りである。

記載は，発行機関（または著者等），報告書名（書名），発行年月日の順になっている。報告書名の配列は，北海道内については報告書出版数の関係で便宜的に隣接する複数管内にまとめて５分し，そのエリア内については発行機関（または著者）を五十音順配列にしてある。また，埋蔵文化財センターと博物館・研究所関係の出版物については，地域に関係なく発行機関別に一括した。ただし，年報・紀要の類は，リスト最後の部分に一括しておいた。なお，目録全体の統一と索引上の便宜を図るために，報告書表紙の表記を，中表紙あるいは奥付の記載に準拠して序列を変えさせて頂いたところがある。御了承頂きたい。

発行機関（者）	報告書名	年次
［北海道：上川・留萌・宗谷管内］		
旭川市教育委員会	あさひかわの遺跡１；錦町５遺跡　―発見された擦文時代の生活のあと―（北海道旭川市埋蔵文化財発掘調査報告第３輯付篇） ……	1984
――	あさひかわの遺跡２；忠和２遺跡　―発掘された縄文時代の生活のあと―（北海道旭川市埋蔵文化財発掘調査報告第４輯付篇） ……	1984
――	あさひかわの遺跡３；永山４遺跡　―縄文時代の終末期の生活のようす―（北海道旭川市埋蔵文化財発掘調査報告第８輯付篇） ……	1985
――	旭川市神居古潭８遺跡　―西丘農免農道整備事業に伴う発掘調査報告書― ……	1979
――	忠和２遺跡　（北海道旭川市埋蔵文化財発掘調査報告第４輯） ……	1984
――	北門町３遺跡　（北海道旭川市埋蔵文化財発掘調査報告第５輯） ……	1984
――	錦町５遺跡II　（北海道旭川市埋蔵文化財発掘調査報告第６輯） ……	1985
――	永山４遺跡　（北海道旭川市埋蔵文化財発掘調査報告第８輯） ……	1985
――	末広５遺跡　（北海道旭川市埋蔵文化財発掘調査報告第９輯） ……	1987
――	錦町５遺跡III　（北海道旭川市埋蔵文化財発掘調査報告第10輯） ……	1987
――	錦町２遺跡　（北海道旭川市埋蔵文化財発掘調査報告第11輯） ……	1988
――	萩ヶ丘遺跡　（北海道旭川市埋蔵文化財発掘調査報告第12輯） ……	1989
嵐山遺跡群調査会	嵐山遺跡 ……	1968
フィルドの会	東神楽町沢田の沢遺跡発掘報告―旭川空港拡張整備事業用地内埋蔵文化財発掘調査― ……	1981
枝幸町教育委員会	ホロベツ砂丘遺跡　―幌別川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書― ……	1985
――	目梨泊遺跡　― 一般国道238号線枝幸町地内カムイ道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書― ……	1988
小平町教育委員会・留萌土木現業所	おびらたかさご　―擦文時代の集落跡―　（小平町文化財調査報告１） ……	1983
小平町教育委員会	おびらたかさごII　―擦文時代の集落跡―（小平町文化財調査報告２） ……	1983

天塩町教育委員会　天塩町における考古学的調査 …… 1982
——　天塩町における考古学的調査 …… 1983
苫前町教育委員会　香川三線遺跡　—道営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—
（苫前町文化財調査報告第１輯） …… 1987
——　香川６遺跡・香川三線遺跡　—擦文文化の集落跡—河川改修及び橋梁架設に
伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—（苫前町文化財調査報告第２輯） …… 1988
名寄市教育委員会　名寄市の遺跡　—名寄市埋蔵文化財一般分布調査報告—
（名寄市文化財調査報告書III） …… 1982
——　名寄市日進２遺跡・日進31遺跡　—道々美深・名寄線凍雪害防止工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書—（名寄市文化財調査報告書IV） …… 1988
——　名寄市日進33遺跡　—道々美深・名寄線凍雪害防止工事に伴う埋蔵文化財発掘
調査報告書—　（名寄市文化財調査報告書Ｖ） …… 1988
富良野市教育委員会　鳥沼遺跡　（富良野市文化財調査報告第１輯） …… 1986
——　三の山２遺跡　（富良野市文化財調査報告第２輯） …… 1986
——　富良野市東麓郷１・２遺跡発掘調査概報 …… 1986

［北海道：釧路・根室・網走管内］

北見市立郷土博物館　開成４遺跡　—道営畑地帯総合土地改良事業北見川南地区内埋蔵文化財
緊急発掘調査報告書— …… 1983
——　広郷８遺跡（Ｉ）　—道営畑地帯総合土地改良事業北見南部地区内埋蔵文化財
緊急発掘調査概要報告書— …… 1984
釧路村教育委員会　昆布森中学校裏遺跡発掘調査報告書　（釧路村文化財調査報告２） …… 1977
釧路町教育委員会　別保川左岸１遺跡発掘調査報告書　（釧路町文化財調査報告４） …… 1981
釧路市教育委員会　釧路市幣舞遺跡調査報告書 …… 1990
釧路市埋蔵文化財調査センター
釧路市桜ヶ岡１・２遺跡調査報告書 …… 1987
——　釧路市桜ヶ岡３遺跡調査報告書 …… 1987
——　釧路市桜ヶ岡２遺跡調査報告書 …… 1988
——　釧路市材木町５遺跡調査報告書II …… 1990
標津町教育委員会　伊茶仁カリカリウス遺跡発掘調査報告書　—昭和56年度標津遺跡群保存修理事業— …… 1982
——　標津の竪穴Ｖ　—昭和56年度標津町内遺跡分布調査事業報告書— …… 1982
——　標津の竪穴Ⅷ　—昭和59年度標津町内遺跡分布調査事業報告書— …… 1985
——　標津の竪穴IX　—昭和60年度標津町内遺跡分布調査事業報告書— …… 1986
——　標津の竪穴Ｘ　—昭和61年度標津町内遺跡分布調査事業報告書— …… 1987
——　標津の竪穴XI　—昭和62年度標津町内遺跡分布調査事業報告書— …… 1988
——　古道第２竪穴群遺跡
—平成元年度道々川北茶志骨線局部改良工事に伴う発掘調査報告書— …… 1990
——　伊茶仁チシネ第３竪穴群遺跡
—平成元年度一般国道335号標津町忠類歩道新設工事に伴う発掘調査報告書— …… 1990
斜里町教育委員会　ピラガ丘遺跡　—秋山地点発掘調査報告書—　（斜里町文化財調査報告IV） …… 1990
常呂町教育委員会　トコロチャシ南尾根遺跡　1985年度 …… 1986
——　ＴＫ67遺跡　—北海道営畑地帯総合土地改良に伴う発掘調査報告書— …… 1988
——　ＴＫ73遺跡　—常呂川河口右岸掘削護岸工事に係る発掘調査概報— …… 1990
根室市教育委員会　別当賀一番沢川遺跡発掘調査報告書
—市道別当賀川口線特殊改良１種事業の工事用地内埋蔵文化財発掘調査— …… 1986

―― 初田牛20遺跡発掘調査報告書 …… 1989
丸瀬布町教育委員会 金山１遺跡 ― 一般国道333号線切替工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書― …… 1986
女満別町・女満別町教育委員会・女満別町郷土保勝会
女満別遺跡（復刻） …… 1982
紋別市教育委員会 紋別市オンネナイ第２地点遺跡 ―発掘調査報告書― …… 1978
―― 新生２遺跡・新生４遺跡
―中渚滑紋別（停）線特１工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書― …… 1987
―― オンネナイ３遺跡 ― 一般国道238号紋別市紋別バイパス道路改良工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書― …… 1988
羅臼町教育委員会 松法川北岸遺跡 （羅臼町文化財報告８） …… 1984

［北海道：胆振・日高・十勝管内］
浦河町教育委員会 旧姉茶墓地調査報告 …… 1980
帯広市教育委員会・十勝郷土研究会
帯広八千代Ｃ遺跡 ―北海道帯広市八千代Ｃ遺跡発掘調査報告書― …… 1977
帯広市教育委員会 上似平遺跡 ―北海道帯広市上似平遺跡発掘調査報告書― …… 1978
帯広先史文化研究会 帯広空港南Ａ遺跡・宮本遺跡 ―範囲確認調査報告書― …… 1982
十勝支庁 帯広空港南Ａ遺跡 ―道営畑地総合事業大正地区第10号農道改良工事
区内埋蔵文化財緊急発掘調査報告書― …… 1983
帯広市教育委員会 帯広暁遺跡 （帯広埋蔵文化財発掘調査報告第１冊） …… 1985
―― 帯広空港南Ｂ遺跡 （帯広埋蔵文化財発掘調査報告第２冊） …… 1986
―― 帯広宮本遺跡 （帯広埋蔵文化財発掘調査報告第３冊） …… 1986
―― 帯広自由ケ丘遺跡 （帯広埋蔵文化財発掘調査報告第４冊） …… 1986
株式会社陸奥倶楽部・帯広市教育委員会
帯広暁遺跡２ （帯広埋蔵文化財発掘調査報告第５冊）……1986
帯広市教育委員会 帯広上似平遺跡２ （帯広埋蔵文化財発掘調査報告第６冊） …… 1987
―― 帯広暁遺跡３ （帯広埋蔵文化財発掘調査報告第７冊） …… 1988
―― 帯広八千代Ａ遺跡 （帯広埋蔵文化財発掘調査報告第８冊） …… 1990
音別町教育委員会 ノトロ岬 ―昭和58年度音別町ノトロ岬遺跡発掘調査報告書― …… 1984
上士幌町教育委員会 居辺遺跡 …… 1985
―― 居辺14遺跡 ― 一般道々居辺・本別線道路特改一種工事に伴う埋蔵文化財緊急
発掘調査報告書― …… 1985
静内町教育委員会 御殿場山遺跡とその周辺における考古学的調査
―静内町遺跡分布調査報告書―その２ …… 1984
―― 静内町清水丘における考古学的調査
―公営住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書― …… 1985
社団法人北海道建築士会十勝支部帯広分会・帯広市教育委員会
帯広市古建築調査書III 双葉幼稚園 …… 1986
―― 帯広市古建築調査書IV 三井金物店 …… 1987
―― 帯広市古建築調査書Ⅴ 真正閣 …… 1988
―― 帯広市古建築調査書VI 帯廣湯 …… 1989
―― 帯広市古建築調査書Ⅶ 野口病院 …… 1990
苫小牧市教育委員会 苫小牧東部工業地帯埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅴ 昭和55年度版 …… 1983
―― 静川16遺跡 ―縄文時代の環濠と集落― …… 1983
苫小牧市教育委員会・苫小牧市埋蔵文化財調査センター

苫小牧東部工業地帯埋蔵文化財発掘調査概要報告書VI　昭和56年度版 …… 1984
―― タプコプ　―北海道苫小牧市植苗地区国道36号改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―
…… 1984
―― ニナルカ　― 一般国道235号線苫東基地関連国道切替工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―
…… 1985
―― 苫小牧東部工業地帯埋蔵文化財発掘調査概要報告書VII　昭和57年度版 …… 1985
―― 柏原24遺跡　―苫小牧市柏原一般廃棄物最終処分場建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―
…… 1986
―― 苫小牧東部工業地帯埋蔵文化財発掘調査概要報告書VIII　昭和59年度版 …… 1986
―― 苫小牧市東部工業地帯埋蔵文化財分布調査報告書　昭和59年度版 …… 1986
―― 静川16遺跡発掘調査報告書　―静川16遺跡の史跡指定に係る範囲確定並びに
環濠との関連資料の有無を確認するための発掘調査― …… 1986
―― 厚真町厚真７遺跡・共和遺跡・早来町遠浅１遺跡発掘調査報告書
（苫小牧東部工業地帯の遺跡群II） …… 1987
苫小牧市教育委員会　弁天貝塚Ｉ　―幕末期以降におけるアイヌ貝塚の発掘調査報告書― …… 1987
―― 弁天貝塚II　―幕末期以降におけるアイヌ貝塚の発掘調査報告書― …… 1988
苫小牧市教育委員会・苫小牧市埋蔵文化財調査センター
弁天貝塚III　―幕末期以降におけるアイヌ貝塚の発掘調査報告書― …… 1989
―― 柏原４遺跡　―苫小牧市字柏原市道ニナルカ遠浅線改良工事に伴う埋蔵文化財
発掘調査報告書― …… 1989
―― 苫小牧市静川37遺跡発掘調査（第一次）概要報告書
―道々上厚真苫小牧線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書― …… 1989
―― 苫小牧市静川37遺跡発掘調査（第二次）概要報告書
―道々上厚真苫小牧線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書― …… 1989
―― 高丘Ｅ遺跡　―苫小牧市高丘地区におけるマンション建設工事に伴う埋蔵
文化財発掘調査報告書― …… 1990
―― 厚真町厚真３・12遺跡・苫小牧市静川８遺跡発掘調査報告書
（苫小牧東部工業地帯の遺跡群III） …… 1990
新冠町教育委員会　新冠町氷川遺跡 …… 1975
平取町教育委員会　平取町二風谷小学校校庭遺跡　―埋蔵文化財発掘調査報告書― …… 1987
―― 平取町二風谷遺跡
―沙流川総合開発事業（二風谷ダム建設用地内）埋蔵文化財発掘調査報告書 …… 1987
北海道教育委員会　昭和61年度　アイヌ民俗文化財調査報告書　アイヌ民俗調査VI（十勝・網走地方） …… 1987
北海道文化財保護協会　南稀府５遺跡
―北海道立伊達緑丘高等学校建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書― …… 1983
幕別町教育委員会　猿別Ｃ遺跡の考古学的調査 …… 1983
―― 幕別町札内Ｉ遺跡　―札内高台線改良工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書― …… 1985
―― 札内Ｉ遺跡　―北海道中川郡幕別町札内Ｉ遺跡第１次発掘調査報告書― …… 1985
三石町教育委員会・苫小牧市埋蔵文化財調査センター
ショップ遺跡　―三石町特別養護老人ホーム建設に伴う緊急発掘調査報告書― …… 1988
室蘭開発建設部・平取町
平取町イルエカシ遺跡　―発掘調査概報― …… 1988
門別町教育委員会　エサンヌップ２遺跡・エサンヌップ３遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書
―縄文時代中期の集落跡― …… 1990
―― ペサウンコツ遺跡・ユクウンコツ２遺跡 …… 1990

［北海道：石狩・空知・後志管内］

石狩町教育委員会　石狩町紅葉山43号遺跡　―石狩町における縄文時代晩期の遺跡―　…… 1974

石狩町教育委員会・紅葉山33号遺跡調査団

続縄文時代の墓壙群の研究　―石狩町紅葉山33号遺跡の例―　…… 1975

紅葉山遺跡調査団・石狩町教育委員会

紅葉山砂丘における考古学的調査報告　―石狩町における北海道型土師器出土の住居跡群と縄文時代中期の土器出土遺跡の調査―　…… 1975

石狩町教育委員会　SHIBISHIUSU II

―花畔砂堤列における縄文時代晩期の住居址・竪穴群・墓地の発掘記録―　…… 1979

―― 紅葉山33号遺跡　―紅葉山砂丘における続縄文時代前半期の墓地発掘の記録―　…… 1984

恵庭市教育委員会　カリンバ２遺跡　…… 1987

―― カリンバ２遺跡　…… 1989

―― 中島松５遺跡Ｂ地点・中島松７遺跡Ｃ地点　…… 1990

―― 柏木川11遺跡　…… 1990

江別市教育委員会　旧豊平河畔七丁目沢７　（江別市文化財調査報告書ⅩⅧ）　…… 1984

―― 高砂遺跡（４）　（江別市文化財調査報告書26）　…… 1988

―― 大麻21遺跡（2）　（江別市文化財調査報告書27）　…… 1988

―― 元江別１遺跡　（江別市文化財調査報告書28）　…… 1988

―― 大麻３遺跡（３）　（江別市文化財調査報告書29）　…… 1989

―― 高砂遺跡（５）　（江別市文化財調査報告書30）　…… 1989

―― 元江別１・２遺跡　（江別市文化財調査報告書31）　…… 1989

―― 元江別10遺跡　（江別市文化財調査報告書32）　…… 1989

―― 西野幌３遺跡　（江別市文化財調査報告書33）　…… 1989

―― 大麻17遺跡　（江別市文化財調査報告書34）　…… 1989

小樽市教育委員会　忍路11遺跡　―北後志東部地区営農団地広域農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書―　…… 1985

―― チブタシナイ遺跡　―蘭島川水系河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査概報―　…… 1987

―― 蘭島遺跡　―埋蔵文化財発掘調査報告書第１輯―　…… 1990

―― 蘭島餅屋沢遺跡　―蘭島川水系河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査概報―　…… 1990

神恵内村教育委員会　神恵内観音洞窟　…… 1984

札幌市教育委員会　白石神社遺跡　（札幌市文化財調査報告書Ⅰ）　…… 1973

―― Ｎ154 遺跡　（札幌市文化財調査報告書Ⅳ）　…… 1974

―― Ｎ162 遺跡　（札幌市文化財調査報告書Ⅴ）　…… 1974

―― Ｎ293 遺跡　（札幌市文化財調査報告書Ⅵ）　…… 1974

―― Ｔ310 遺跡　（札幌市文化財調査報告書Ⅶ）　…… 1974

―― Ｎ311 遺跡　（札幌市文化財調査報告書Ⅷ）　…… 1974

―― Ｓ238 遺跡・Ｓ239 遺跡　（札幌市文化財調査報告書Ⅸ）　…… 1975

―― Ｓ153 遺跡　（札幌市文化財調査報告書Ⅹ）　…… 1976

―― Ｓ256 遺跡・Ｓ257 遺跡・Ｓ253 遺跡　（札幌市文化財調査報告書Ⅺ）　…… 1975

―― Ｎ309 遺跡　（札幌市文化財調査報告書Ⅻ）　…… 1975

―― Ｔ210 遺跡　（札幌市文化財調査報告書ⅩⅢ）　…… 1976

―― Ｎ309 遺跡　（札幌市文化財調査報告書ⅩⅥ）　…… 1977

―― Ｎ199 遺跡　（札幌市文化財調査報告書ⅩⅦ）　…… 1977

―― Ｓ411 遺跡　（札幌市文化財調査報告書ⅩⅧ）　…… 1978

―― Ｓ255 遺跡　（札幌市文化財調査報告書ⅩⅨ）　…… 1979

—— K446 遺跡 (札幌市文化財調査報告書ＸＸ) …… 1979
—— K460 遺跡 (札幌市文化財調査報告書ＸＸII) …… 1980
—— S458 遺跡・S320 遺跡・S456 遺跡 (札幌市文化財調査報告書ＸＸIII) …… 1982
—— S153 遺跡 (札幌市文化財調査報告書ＸＸIV) …… 1982
—— S354 遺跡 (札幌市文化財調査報告書ＸＸＶ) …… 1982
—— T361 遺跡 (札幌市文化財調査報告書ＸＸIX) …… 1987
—— K135 遺跡 (札幌市文化財調査報告書ＸＸＸ) …… 1987
—— S270 遺跡 (札幌市文化財調査報告書ＸＸＸＩ) …… 1987
—— N295 遺跡 (札幌市文化財調査報告書ＸＸＸII) …… 1987
—— K36遺跡 (札幌市文化財調査報告書ＸＸＸIII) …… 1987
—— M67遺跡 (札幌市文化財調査報告書ＸＸＸIV) …… 1988
—— K482 遺跡・K483 遺跡 (札幌市文化財調査報告書ＸＸＸＶ) …… 1988
—— K441 遺跡北33条地点・N12遺跡 (札幌市文化財調査報告書ＸＸＸVI) …… 1989
—— K441 遺跡北34条地点 (札幌市文化財調査報告書ＸＸＸVII) …… 1989
—— T151 遺跡南側地点 (札幌市文化財調査報告書ＸＸＸVIII) …… 1989
—— K135 遺跡西５丁目通地点 (札幌市文化財調査報告書ＸＸＸIX) …… 1990
—— K135 遺跡４丁目地点　1988年度調査 (札幌市文化財調査報告書ＸＬ) …… 1990
—— 札幌市埋蔵文化財台帳　付　分布図 (札幌市文化財調査報告書II) …… 1989

島牧村教育委員会　チャランケ・チャシ発掘調査報告書 …… 1985

寿都町教育委員会　寿都町文化財調査報告書Ｉ …… 1979
—— 寿都町文化財調査報告書II …… 1980

千歳市教育委員会　ウサクマイ遺跡群 …… 1977
—— ウサクマイ遺跡群とその周辺における考古学的調査
（千歳市文化財調査報告書IV） …… 1979
—— 末広遺跡における考古学的調査（上） (千歳市文化財調査報告書VII) …… 1981
—— 末広遺跡における考古学的調査（下） (千歳市文化財調査報告書VIII) …… 1982
—— メボシ川２遺跡における考古学的調査 (千歳市文化財調査報告書IX) …… 1983
—— 末広遺跡における考古学的調査（続） (千歳市文化財調査報告書XI) …… 1985
—— 梅川３遺跡における考古学的調査 (千歳市文化財調査報告書XII) …… 1986
—— イヨマイ６遺跡における考古学的調査（２） (千歳市文化財調査報告書ＸIV) …… 1990
—— ウサクマイＸ遺跡における考古学的調査 (千歳市文化財調査報告書ＸＶ) …… 1990

泊村教育委員会　茶津洞穴遺跡発掘調査報告書 …… 1989

ニセコ町教育委員会　昭和57年度　ニセコ町内遺跡分布調査報告書II …… 1983

北海道教育委員会　泊発電所建設に係る埋蔵文化財包蔵地確認調査報告書 …… 1983

北海道先史考古学研究会
小野幌遺跡の発掘調査（略報）
―札幌市小野幌遺跡における縄文文化早期および中期遺物出土地点の発掘― …… 1975

北海道住宅団地開発事務所・北海道文化財保護協会
北広島団地第１遺跡 …… 1971

北海道文化財保護協会　柏木川　―擦文時代・縄文時代晩期の墳墓と縄文時代中期の住居址― …… 1971
—— 西の里２遺跡
―北海道立北広島西高等学校建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書― …… 1983

北海道文化財研究所　共和町宮岡１遺跡　―発掘調査概報― …… 1985
—— 泊村茶津貝塚　―発掘調査概報― …… 1985

—— 宮岡１遺跡 —泊発電所建設に伴う埋蔵文化財包蔵地の発掘調査—
（北海道文化財研究所調査報告書第１集） …… 1986
—— 積丹半島の「袋澗」 —ニシン漁の栄枯を残すミニ漁港の産業考古学調査—
（北海道文化財研究所調査報告書第２集） …… 1987
—— ヘロカリウス遺跡 —泊発電所建設に伴う埋蔵文化財包蔵地の発掘調査—
（北海道文化財研究所調査報告書第３集） …… 1987
余市町教育委員会 沢町遺跡 …… 1989
—— 1989年度大川遺跡発掘調査概報
—余市川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要— …… 1990

［北海道：渡島・檜山管内］

恵山町教育委員会 日ノ浜砂丘１遺跡 …… 1986
上ノ国町教育委員会 史跡上ノ国勝山館跡IV —昭和57年度発掘調査整備事業概報— …… 1983
—— 史跡上ノ国勝山館跡Ⅴ —昭和58年度発掘調査整備事業概報— …… 1984
—— 史跡上ノ国勝山館跡VI —昭和59年度発掘調査整備事業概報— …… 1985
—— 史跡上ノ国勝山館跡VII —昭和60年度発掘調査整備事業概報— …… 1986
—— 史跡上ノ国勝山館跡VIII —昭和61年度発掘調査整備事業概報— …… 1987
—— 史跡上ノ国勝山館跡IX —昭和62年度発掘調査整備事業概報— …… 1988
—— 史跡上ノ国勝山館跡Ⅹ —昭和63年度発掘調査整備事業概報— …… 1989
—— 史跡上ノ国勝山館跡XI —平成元年度発掘調査整備事業概報— …… 1990
—— 夷王山墳墓群 —昭和56～58年度町内遺跡詳細分布調査事業報告書— …… 1984
上ノ国町教育委員会 大岱沢Ａ遺跡 —上ノ国町八幡野第１地区道営農面農道整備事業用地内遺跡
発掘調査報告書— …… 1987
—— 新村４遺跡 —上ノ国町豊留地区道営農地開発事業用地内遺跡発掘調査報告書— …… 1987
上ノ国町教育委員会・函館土木現業所
上ノ国漁港遺跡 —昭和58・60年度発掘調査報告書— …… 1987
瀬棚町教育委員会 南川２遺跡 …… 1985
戸井町教育委員会 蛯子川２遺跡 …… 1989
—— 浜町Ａ遺跡Ⅰ …… 1990
七飯町教育委員会 峠下聖山遺跡 …… 1979
—— 大中山５遺跡 …… 1983
—— 七飯本町１・２遺跡 …… 1986
松前町教育委員会 松前町大津遺跡発掘報告書 …… 1974
—— 白坂 —国道228号線改良拡幅工事に伴う緊急発掘調査報告書— …… 1983
—— 札前 —国道228号線改良拡幅工事に伴う緊急発掘調査報告書— …… 1985
—— 史跡福山城II —昭和59年度発掘調査概要報告— …… 1985
—— 史跡福山城III —昭和60年度発掘調査概要報告— …… 1986
—— 史跡福山城IV —昭和61年度発掘調査概要報告— …… 1987
—— 史跡福山城VI —昭和63年度発掘調査概要報告— …… 1989
—— 史跡福山城VII —平成元年度発掘調査概要報告— …… 1990
—— 福山城（松前城）本丸御門保存修理工事報告書 …… 1986
—— 寺町貝塚 —団体営農道江良寺町線改良工事に伴う発掘調査報告書— …… 1988
松前町史に親しむ会 大沢キリシタン処刑擬定地発掘調査報告書 …… 1988
南茅部町教育委員会 ハマナス野遺跡調査概報 …… 1977

―― 臼尻Ｂ遺跡発掘調査報告書
―宅地造成に伴う国庫補助事業による第１次発掘調査― …… 1977
―― 臼尻小学校遺跡 ―炭化構造材を残す縄文時代後期の竪穴住居址の調査― …… 1980
―― 木直Ｃ遺跡
―北海道茅部郡南茅部町における縄文時代中期末の集落と配石群の調査― …… 1981
―― ハマナス野遺跡Ⅶ
―北海道茅部郡南茅部町における縄文時代前・中期集落の調査― …… 1981
―― ハマナス野遺跡Ⅸ
―北海道茅部郡南茅部町における縄文時代前・中期集落の調査― …… 1983
―― 臼尻Ｂ遺跡 vol.Ⅴ ―縄文時代中期集落跡の発掘調査報告― …… 1985
―― 川汲Ｂ遺跡 ―縄文時代早期貝殻文土器文化ほかの発掘調査報告― …… 1986
―― 臼尻Ｂ遺跡 vol.Ⅵ ―縄文時代中期集落跡の発掘調査報告― …… 1986
―― 臼尻Ｂ遺跡 vol.Ⅶ ―縄文時代中期集落跡の発掘調査報告― …… 1987
―― 臼尻Ｂ遺跡 vol.Ⅷ ―縄文時代中期集落跡の発掘調査報告― …… 1988

南茅部町埋蔵文化財調査団
川汲遺跡・川汲Ｄ遺跡 …… 1990

森町教育委員会 御幸町 ―茅部郡森町における縄文時代の住居址・土壙群発掘記録― …… 1985

八雲町教育委員会 八雲焼 ―窯跡の調査報告と解説― …… 1977
―― 栄浜 ―八雲町栄浜１遺跡発掘調査報告書― …… 1983
―― 台の上遺跡 …… 1987
―― 栄浜１遺跡 …… 1987

［北海道埋蔵文化財センター］

北海道埋蔵文化財センター
美沢川流域の遺跡群Ⅵ ―新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第８集) …… 1982
―― 今金町美利河１遺跡 ―美利河ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概報― …… 1984
―― 美沢川流域の遺跡群Ⅷ ―新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第17集) …… 1985
―― 湯の里遺跡群 ―津軽海峡線（北海道方）建設工事埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第18集) …… 1985
―― 登別市川上Ｂ遺跡 ―北海道縦貫自動車道登別地区埋蔵文化財第二次発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第20集) …… 1985
―― 登別市千歳５遺跡 ―北海道縦貫自動車道登別地区埋蔵文化財第二次発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第21集) …… 1985
―― 尻岸内町中浜Ｅ遺跡 ―尻岸内町中浜Ｅ遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第22集) …… 1985
―― 今金町美利河１遺跡 ―美利河ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第23集) …… 1985
―― 美沢川流域の遺跡群Ⅸ ―新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第24集) …… 1986
―― 江別市西野幌11遺跡 ―道々野幌総合運動公園線改良工事埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第25集) …… 1986

—— ユオイチャシ跡・ポロモイチャシ跡・二風谷遺跡 —沙流川総合開発事業
(二風谷ダム建設用地内) 埋蔵文化財発掘調査報告書—
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第26集) …… 1986
—— 登別市川上B遺跡・C地区 —北海道縦貫自動車道登別地区埋蔵文化財発掘調査報告書—
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第27集) …… 1986
—— 岩見沢市野々沢C遺跡 —北海道縦貫自動道岩見沢地区埋蔵文化財発掘調査報告書—
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第28集) …… 1986
—— 砂川市焼山2遺跡・奈井江町宮村2遺跡・茶志内4遺跡
—北海道縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書—
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第29集) …… 1986
—— 上ノ国町小岱遺跡 —八幡野第一地区道営農免農道整備事業用地内埋蔵文化財
発掘調査報告書— (財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第30集) …… 1986
—— 上ノ国町豊田西遺跡 —豊留地区道営農地開発事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第31集) …… 1986
—— 知内町湯の里3遺跡 —津軽海峡線(北海道方)建設工事埋蔵文化財発掘調査
報告書(2)— (財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第32集) …… 1986
—— 木古内町建川1遺跡・新道4遺跡
—津軽海峡線(北海道方)建設工事埋蔵文化財発掘調査報告書(3)—
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第33集) …… 1986
—— 木古内町札苅遺跡 —津軽海峡線(北海道方)連絡設備工事敷地内埋蔵文化財
発掘調査報告書— (財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第34集) …… 1986
—— 新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 —美沢川流域の遺跡群X—
フレペッ遺跡群II—ペンケナイ川流域の遺跡群I—
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第35集) …… 1987
—— 千歳市ママチ遺跡III (財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第36集) …… 1987
—— 上磯町矢不来2遺跡 — 一般国道228号上磯町矢不来法面防災工事埋蔵文化財
発掘調査報告書— (財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第37集) …… 1987
—— 登別市亀田公園遺跡 —北海道縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書—
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第38集) …… 1987
—— 江別市西野幌3遺跡 —野幌総合運動公園改良工事埋蔵文化財発掘調査報告書—
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第39集) …… 1987
—— 鷹栖町嵐山2遺跡 —北海道縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書—
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第40集) …… 1987
—— 砂川市空知太2遺跡 —北海道縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書—
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第41集) …… 1987
—— 深川市向陽2遺跡 —北海道縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書—
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第42集) …… 1987
—— 木古内町建川2遺跡・新道4遺跡
—津軽海峡線(北海道方)建設工事埋蔵文化財発掘調査概報— …… 1987
—— 木古内町建川2遺跡・新道4遺跡
—津軽海峡線(北海道方)建設工事埋蔵文化財発掘調査報告書(4)—
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第43集) …… 1987
—— 新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書
—調査の概要—美沢川流域の遺跡群XI—ペンケナイ川流域の遺跡群II—
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第44集) …… 1988

—— 函館市石川１遺跡 ― 一般国道５号函館新道道路改良工事用地内埋蔵文化財
発掘調査報告書― (財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第45集) …… 1988
—— 函館市桔梗２遺跡 ― 一般国道５号函館新道道路改良工事用地内埋蔵文化財
発掘調査報告書― (財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第46集) …… 1988
—— 上磯町矢不来天満宮跡 ― 一般国道228号上磯町茂辺地法面工事用地内埋蔵文化財
発掘調査報告書― (財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第47集) …… 1988
—— 江別市西野幌11遺跡・西野幌13遺跡・西野幌14遺跡・下学田遺跡
―道立野幌総合運動公園用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第48集) …… 1988
—— 深川市音江２遺跡 ―北海道縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第49集) …… 1988
—— 深川市国見２遺跡 ―北海道縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第50集) …… 1988
—— 深川市内園２遺跡 ―北海道縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第51集) …… 1988
—— 木古内町新道４遺跡 ―津軽海峡線（北海道方）建設工事埋蔵文化財発掘調査
報告書（５）― (財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第52集) …… 1988
—— 小樽市忍路土場遺跡・忍路５遺跡 ―北後志東部地区広域営農団地農道整備
事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 ―昭和60・61・62・63年度
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第53集) …… 1989
—— 江別市西野幌12遺跡 ―道立野幌総合運動公園用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第54集) …… 1989
—— 深川市納内６丁目付近遺跡 ―北海道縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第55集) …… 1989
—— 深川市国見２遺跡（II） ―北海道縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第56集) …… 1989
—— 深川市東広里遺跡 ―音江築堤工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第57集) …… 1989
—— 美沢川流域の遺跡群XII ―新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第58集) …… 1989
—— 今金町美利河１・２砂金採掘跡
―後志利別川水系美利河ダム建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第59集) …… 1989
—— 深川市納内３遺跡 ―北海道縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第60集) …… 1989
—— 伊達市牛舎川右岸遺跡・稀府川遺跡 ―北海道縦貫自動車道埋蔵文化財発掘
調査報告書― (財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第61集) …… 1990
—— 美沢川流域の遺跡群XIII ―新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第62集) …… 1990
—— 深川市納内６丁目付近遺跡II ―北海道縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第63集) …… 1990
—— 伊達市谷藤川右岸遺跡 ―北海道縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第64集) …… 1990

―― 仁木町モンガク丘陵の遺跡群 ―北後志東部地区広域営農団地農道整備事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第65集) …… 1990
―― 余市町栄町５遺跡 ―北後志東部地区広域営農団地農道整備事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第66集) …… 1990
―― 余市町登町２遺跡・登町３遺跡 ―北後志東部地区広域営農団地農道整備事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―
(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第67集) …… 1990
―― 調査年報１ 昭和63年度 …… 1989
―― 調査年報２ 平成元年度 …… 1989

［青森県］

青森県教育委員会 碇ケ関大面遺跡発掘調査報告書 ―東北縦貫自動車道関係―
(青森県埋蔵文化財調査報告書第55集) …… 1980
―― 垂柳遺跡発掘調査概報 (青森県埋蔵文化財調査報告書第78集) …… 1983
―― 朝日山 (青森県埋蔵文化財調査報告書第87集) …… 1984
浪岡町教育委員会 大沼遺跡発掘調査報告書 ―平安時代の低湿地遺跡の調査―
(浪岡町埋蔵文化財緊急発掘調査報告書第４集) …… 1990
階上町教育委員会 白座遺跡・野場遺跡（３）発掘調査報告書 …… 1989
八戸市教育委員会 史跡根城跡発掘調査報告書Ⅶ 昭和58年度
(八戸市埋蔵文化財調査報告書第14集) …… 1985
―― 丹後谷地遺跡 (八戸市埋蔵文化財調査報告書第15集 八戸新都市区域内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ) …… 1986
―― 史跡根城跡発掘調査報告書Ⅷ 昭和59年度
(八戸市埋蔵文化財調査報告書第16集) …… 1986
―― 鳥木沢遺跡・丹後谷地遺跡（２）・笹子遺跡（４） (八戸市埋蔵文化財調査報告書第17集 八戸新都市区域内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ) …… 1986
―― 古宮遺跡・湯浅屋新田遺跡（２）・丹後平遺跡（３） (八戸市埋蔵文化財調査書第19集 八戸新都市区域内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ) …… 1987
―― 史跡根城跡環境整備事業概報Ⅰ …… 1987
―― 田面木平遺跡（１） (八戸市埋蔵文化財調査報告書第20集 八戸新都市区域内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅴ) …… 1988
―― 中道遺跡発掘調査報告書 (八戸市埋蔵文化財調査報告書第21集) …… 1988
―― 田面木遺跡発掘調査報告書 (八戸市埋蔵文化財調査報告書第22集) …… 1988
―― 古坂・夏間木（１）遺跡 ―鳥沢・豊崎線道路改良工事に伴う発掘調査報告書―
(八戸市埋蔵文化財調査報告書第23集) …… 1988
―― 史跡根城跡環境整備事業概報Ⅱ …… 1988
―― 丹後平古墳発掘調査概報 (八戸市埋蔵文化財調査報告書第24集 八戸新都市区域内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ) …… 1988
―― 史跡根城跡発掘調査報告書Ⅹ (八戸市埋蔵文化財調査報告書第25集) …… 1988
―― 八幡遺跡発掘調査報告書 (八戸市埋蔵文化財調査報告書第26集) …… 1988
―― 丹後平遺跡（２）・丹後谷地遺跡（４）・笹子遺跡（３） (八戸市埋蔵文化財調査報告書第27集 八戸新都市区域内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅶ) …… 1988
―― 史跡根城跡環境整備事業概報Ⅲ …… 1989

—— 田面木遺跡発掘調査報告書 （八戸市埋蔵文化財調査報告書第28集） …… 1989
—— 毛合清水（1）・（2）遺跡 —高館・上長線道路改良事業に伴う発掘調査報告書—
（八戸市埋蔵文化財調査報告書第29集） …… 1989
—— 鴨平（3）遺跡・土橋遺跡 —土橋地区普通農道整備事業に伴う発掘調査報告書—
（八戸市埋蔵文化財調査報告書第30集） …… 1989
—— 史跡根城跡発掘調査報告書XI （八戸市埋蔵文化財調査報告書第31集） …… 1989
—— 熊野堂遺跡発掘調査報告書 （八戸市埋蔵文化財調査報告書第32集） …… 1989
—— 赤御堂遺跡 （八戸市埋蔵文化財調査報告書第33集） …… 1989
—— 田面木平（1）遺跡 （八戸市埋蔵文化財調査報告書第34集 八戸新都市区域内
埋蔵文化財発掘調査報告書VIII） …… 1989
—— 史跡根城跡発掘調査報告書XII （八戸市埋蔵文化財調査報告書第35集） …… 1990
—— 石手洗遺跡・田面木平（2）遺跡 （八戸市埋蔵文化財調査報告書第36集
八戸市内遺跡発掘調査報告書1） …… 1990
—— 丹後平（1）遺跡 （八戸市埋蔵文化財調査報告書第37集 八戸新都市区域内
埋蔵文化財発掘調査報告書IX） …… 1990
—— 見立山（2）遺跡 —八戸市西霊園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—
（八戸市埋蔵文化財調査報告書第38集） …… 1990

［岩手県］

㈶岩手県埋蔵文化財センター
二戸市沢内B遺跡 （岩手県埋文センター文化財調査報告書第7集） …… 1979
—— 江刺市力石II遺跡・兎II遺跡・落合III遺跡・朴ノ木遺跡 （岩手県埋文センター文化財
調査報告書第8集 主要地方道一関・北上線関連遺跡発掘調査報告書） …… 1979
㈶岩手県埋蔵文化財センター・日本道路公団
松尾村野駄遺跡・寄木遺跡・西根町崩石遺跡 （岩手県埋文センター文化財調査報告書
第11集 東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査報告書） …… 1980
㈶岩手県埋蔵文化財センター・建設省岩手工事事務所
雫石下平遺跡・高校西遺跡 昭和52年度調査 （岩手県埋文センター文化財調査報告書第14集）
…… 1981
㈶岩手県埋蔵文化財センター・建設省御所ダム工事事務所
盛岡市下猿田III遺跡・雫石町安庭古墳・伝久・町場II・町場III遺跡
昭和49・54年度 （岩手県埋文センター文化財調査報告書第16集
御所ダム建設関連遺跡発掘調査報告書） …… 1981
㈶岩手県埋蔵文化財センター・日本道路公団
二戸郡安代町扇畑I遺跡 昭和54年度 （岩手県埋文センター文化財調査報告書第17集
東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査報告書） …… 1981
㈶岩手県埋蔵文化財センター・建設省岩手工事事務所
水沢市玉貫遺跡・金ヶ崎町西根遺跡 （岩手県埋文センター文化財調査報告書第18集
金ヶ崎バイパス関連遺跡発掘調査報告書） …… 1981
㈶岩手県埋蔵文化財センター・日本道路公団
松尾村長者屋敷遺跡（II） （岩手県埋文センター文化財調査報告書第20集
東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査報告書） …… 1981
—— 安代町荒屋I遺跡・荒屋II遺跡・越戸II遺跡 （岩手県埋文センター文化財調査報告書
第21集 東北縦貫自動車道関連遺跡発掘調査報告書） …… 1981
㈶岩手県埋蔵文化財センター・建設省岩手工事事務所

二戸市上田面遺跡・大淵遺跡・火行塚遺跡　（岩手県埋文センター文化財調査報告書第23集　二戸バイパス関連遺跡発掘調査報告書）…… 1981
盛岡市教育委員会　志波城跡　―昭和55年度発掘調査概報― …… 1981
――　志波城跡　―昭和56年度発掘調査概報― …… 1982

［秋田県］
秋田県教育委員会・払田柵跡調査事務所
払田柵跡　―第23～30次発掘調査概要― …… 1980
秋田県教育委員会　中田面・重兵衛台Ⅰ・重兵衛台Ⅱ・根洗場遺跡発掘調査報告書（秋田県文化財調査報告書第74集） …… 1980
秋田県埋蔵文化財振興会
杉沢台遺跡・竹生遺跡発掘調査報告書　（秋田県文化財調査報告書第83集） …… 1981
――　国道103号線バイパス工事関係遺跡発掘調査報告書（秋田県文化財調査報告書第84集） …… 1981
――　藤株遺跡発掘調査報告書　（秋田県文化財調査報告書第85集） …… 1981
――　上葛岡Ⅳ遺跡・駒林遺跡・案内Ⅱ遺跡・猿ケ平Ⅰ遺跡（秋田県文化財調査報告書第91集　東北縦貫自動車道発掘調査報告書Ⅴ） …… 1982
秋田県教育委員会　腹鞁の沢遺跡発掘調査報告書　（秋田県文化財調査報告書第97集） …… 1982
秋田県埋蔵文化財振興会
平鹿遺跡発掘調査報告書　（秋田県文化財調査報告書第101集） …… 1983
秋田県教育委員会　妻の神Ⅰ遺跡・乳牛平遺跡　（秋田県文化財調査報告書第107集　東北縦貫自動車道発掘調査報告書Ⅷ） …… 1984
――　妻の神Ⅲ遺跡　（秋田県文化財調査報告書第108集　東北縦貫自動車道発掘調査報告書Ⅸ） …… 1984
――　三十刈Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書　―秋田県男鹿市における縄文・弥生・平安時代遺跡の調査―　（秋田県文化財調査報告書第110集） …… 1984
――　石名館遺跡発掘調査報告書　―仙北平野農業水利事業上総川排水路工事に係る埋蔵文化財発掘調査―　（秋田県文化財調査報告書第112集） …… 1984
――　案内Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ遺跡（秋田県文化財調査報告書第115集　県道田山花輪線関係遺跡発掘調査報告書） …… 1984
秋田市教育委員会　地蔵田Ｂ遺跡・台Ａ遺跡・湯ノ沢Ⅰ遺跡・湯ノ沢Ｆ遺跡　（秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書） …… 1986
秋田市教育委員会　久保田城跡　―本丸御隅櫓跡発掘調査報告書― …… 1989
秋田市教育委員会・秋田城跡調査事務所
秋田城跡　―平成元年度秋田城跡発掘調査概報― …… 1990
秋田県埋蔵文化財センター
秋田県埋蔵文化財センター研究紀要第１号 …… 1986
――　秋田県埋蔵文化財センター年報２ …… 1984
――　秋田県埋蔵文化財センター年報３ …… 1985
――　秋田県埋蔵文化財センター年報５ …… 1987

［宮城県］
岩出山町教育委員会　座散乱木遺跡　―旧石器時代の岩出山― …… 1982
石器文化談話会　座散乱木遺跡　―考古学と自然科学の提携― …… 1983

［千葉県］

袖ケ浦町・㈶君津郡市文化財センター
千葉県袖ケ浦町清水川台遺跡発掘調査報告書　(㈶君津郡市文化財センター発掘調査報告書第２集)　…… 1983
日本文化財研究所　寺沢遺跡　(日本文化財研究所文化財調査報告４)　…… 1977
㈶君津郡市文化財センター
年報No.１　研究紀要Ⅰ　…… 1983

［群馬県］

渋川市教育委員会　中筋遺跡　―第２次発掘調査報告書―　(渋川市発掘調査報告書第18集)　…… 1988
㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団
年報４　…… 1985

［東京都］

荒川区道灌山遺跡調査団
道灌山遺跡Ｄ地点発掘調査報告書　…… 1988
荒川区日暮里延命院貝塚調査団
日暮里延命院貝塚発掘調査概報　…… 1988
落越遺跡調査団　中郷遺跡　…… 1990
葛西城址調査団　葛西城址　―葛飾区青戸７丁目14番地点発掘調査報告書―　…… 1987
――　葛西城址　―葛飾区青戸７丁目19番第１地点発掘調査報告書―　…… 1987
葛飾区教育委員会　柴又河川敷遺跡　―東京都葛飾区柴又６丁目24番先公共溝改良工事に伴う埋蔵文化財有無確認調査報告書　…… 1987
葛西城址調査会　葛西城址Ｘ　―葛飾区青戸７丁目28番地点発掘調査報告書―　…… 1988
――　葛西城址　―葛飾区青戸７丁目36番地点発掘調査報告書―　…… 1988
葛飾区遺跡調査会　本郷・正福寺・鬼塚遺跡　(葛飾区遺跡調査報告第３集)　…… 1989
――　古録天遺跡　―葛飾区柴又１・２・３丁目付近水道工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―　(葛飾区遺跡調査報告第４集)　…… 1989
――　鬼塚遺跡II　(葛飾区遺跡調査報告第８集)　…… 1989
旧芝離宮庭園調査団　旧芝離宮庭園　―浜松町駅高架式歩行者道架設工事に伴う発掘調査報告―　…… 1988
世田谷区教育委員会・世田谷区遺跡調査会
諏訪山遺跡Ⅰ　…… 1984
――　上神明遺跡Ⅰ　…… 1984
――　上之台遺跡Ⅰ・大蔵遺跡　…… 1984
――　下山北遺跡　…… 1984
――　向山遺跡　…… 1985
――　下山遺跡II　…… 1985
――　嘉留多遺跡II　…… 1985
世田谷区教育委員会　中野田遺跡・松原羽根木通遺跡他　(世田谷区遺跡調査報告６)　…… 1985
――　大蔵遺跡III　…… 1985
――　上之台遺跡III・向野田遺跡　…… 1985
元八王子池の下遺跡調査団
八王子市元八王子池の下遺跡発掘調査報告書　…… 1983

［愛知県］
日進町教育委員会　愛知県日進町折戸80号窯発掘調査報告書 …… 1978
——　愛知県日進町株山地区埋蔵文化財発掘調査報告書 …… 1984

［静岡県］
建設省中部地方建設局・静岡県教育委員会・袋井市教育委員会
坂尻遺跡第１次調査　（一般国道１号袋井バイパス〈袋井地区〉埋蔵文化財発掘調査報告書） …… 1981

［新潟県］
三条市教育委員会　新潟県三条市保内三王山古墳群　—測量・発掘調査報告書— …… 1989

［富山県］
入善町教育委員会　じょうべのま遺跡発掘調査概報（８） …… 1985
——　じょうべのま遺跡　—C・K地区の調査— …… 1985
立山町教育委員会・立山町婦人ボランティア養成講座
立山町の石造物（第一集） …… 1989
立山町教育委員会　富山県立山町総合公園内野沢狐幅遺跡発掘調査概報 …… 1985
富山大学人文学部考古学研究室・立山町教育委員会
立山町埋蔵文化財分布調査報告Ⅰ　1985年度
（立山町文化財調査報告書第１冊） …… 1986
——　立山町埋蔵文化財分布調査報告II　1986年度
（立山町文化財調査報告書第２冊） …… 1987
立山町教育委員会　辻遺跡・浦田遺跡発掘調査概要　（立山町文化財調査報告書第３冊） …… 1987
富山大学人文学部考古学研究室・立山町教育委員会
立山町埋蔵文化財分布調査報告III　1987年度
（立山町文化財調査報告書第５冊） …… 1988
立山町教育委員会　浦田遺跡　—第２次発掘調査報告—　（立山町文化財調査報告書第６冊） …… 1988
——　立山カントリークラブ増設工事地内遺跡群発掘調査概要
（立山町文化財調査報告書第７冊） …… 1988
立山町教育委員会・富山大学人文学部考古学研究室
立山町埋蔵文化財分布調査報告IV　付：稚児塚古墳測量調査成果の考察
東大寺領大荊荘域分布調査成果の考察　1988年度
（立山町文化財調査報告書第８冊） …… 1989
立山町教育委員会　吉峰遺跡　—第６次発掘調査概要—　（立山町文化財調査報告書第９冊） …… 1989
富山県教育委員会　富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第６次緊急発掘調査概要 …… 1984
——　富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第７次緊急発掘調査概要 …… 1985
——　富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第８次緊急発掘調査概要
—小杉丸山遺跡— …… 1986
——　富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第８次緊急発掘調査概要
—No.18遺跡Ｂ地区・No.19遺跡— …… 1986
富山県教育委員会　小杉丸山遺跡隣接地区発掘調査概要 …… 1986
——　昭和60年度富山県埋蔵文化財調査一覧 …… 1986
——　富山県埋蔵文化財センター10年の歩み …… 1987
富山県埋蔵文化財センター

富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第９次緊急発掘調査概要
—No.19遺跡— …… 1989
—— 東海北陸自動車道遺跡試掘調査報告 —福光町編— …… 1989
—— 三谷遺跡・一ツ山古墳群 …… 1989
—— 都市計画街路 七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査概要（２）
南太閤山Ⅰ遺跡・南太閤山Ⅱ遺跡 …… 1984
富山県教育委員会 都市計画街路 七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査概要（３）
南太閤山Ⅰ遺跡 …… 1985
—— 都市計画街路 七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査概要（４）
南太閤山Ⅰ遺跡 …… 1986
—— 都市計画街路 七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査概要（５）
黒河尺目遺跡 …… 1987
富山県埋蔵文化財センター
都市計画街路 七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査概要（６）
黒河尺目遺跡 …… 1988
富山県教育委員会 北陸自動車道遺跡調査報告 —立山町木製品・総括編— 石坂助地沢遺跡・
石坂助地沢Ⅱ遺跡・白岩古高遺跡・辻坂の上遺跡・若宮Ａ遺跡・若宮Ｂ遺跡 …… 1984
—— 北陸自動車道遺跡調査報告 —朝日町編— 道下遺跡 …… 1984
—— 北陸自動車道遺跡調査報告 —朝日町編２— 境Ａ遺跡・馬場山Ｄ遺跡・
馬場山Ｅ遺跡・馬場山Ｆ遺跡・馬場山Ｇ遺跡・馬場山Ｈ遺跡 …… 1985
—— 北陸自動車道遺跡調査報告 —朝日町編３— 馬場山Ｄ遺跡・馬場山Ｇ遺跡・
馬場山Ｈ遺跡 …… 1987
—— 北陸自動車道遺跡調査報告 —朝日町編４— 境Ａ遺跡 …… 1989
—— 北陸自動車道遺跡調査報告 —朝日町編５— 境Ａ遺跡石器編 …… 1990
—— 昭和58年度富山県埋蔵文化財調査一覧 …… 1984
—— 昭和59年度富山県埋蔵文化財調査一覧 …… 1985
—— 昭和61年度富山県埋蔵文化財調査一覧 …… 1987
富山県埋蔵文化財センター
富山県埋蔵文化財センター年報 昭和62年度 …… 1988
—— 富山県埋蔵文化財センター年報 昭和63年度 …… 1989
—— 富山県埋蔵文化財センター年報 平成元年度 …… 1990
—— 栗山楮原遺跡・南中田Ａ遺跡・任海鎌倉遺跡・南中田Ｃ遺跡
（富山県総合運動公園内遺跡群発掘調査概要Ⅰ） …… 1990
㈶富山県文化振興財団
埋蔵文化財年報（１） …… 1990

［石川県］
加賀市教育委員会 石川県加賀市宮地向山遺跡 …… 1990
能登ダイヤモンドゴルフ場（予定地）内埋蔵文化財調査委員会
富来町福浦港ムカイヘラソ遺跡・アワガタニ遺跡発掘調査報告 …… 1984
—— 富来町福浦港ヘラソ遺跡発掘調査報告Ⅰ —縄文前期編— …… 1987

［福井県］
武生市教育委員会 高森遺跡Ⅰ （武生市埋蔵文化財調査報告Ⅱ） …… 1986
—— 愛宕山遺跡群Ⅰ （武生市埋蔵文化財調査報告Ⅲ） …… 1987

—— 王子保窯群第１次発掘調査概要報告 （武生市埋蔵文化財調査報告IV） …… 1987
—— 小丸城跡 （武生市埋蔵文化財調査報告Ｖ） …… 1987
—— 新町遺跡第１次発掘調査概要報告書 （武生市埋蔵文化財調査報告VI） …… 1987
—— 王子保窯跡群II （武生市埋蔵文化財調査報告VII） …… 1988
—— 武生市埋蔵文化財詳細分布調査報告書Ｉ （武生市埋蔵文化財調査報告VIII） …… 1988

［三重県］

池田町教育委員会 雨乞塚２号墳発掘調査報告書 …… 1989

［奈良県］

河内城・満久谷遺跡調査会・奈良大学考古学研究室
満久谷遺跡 —兵庫県加西市・加西カントリー倶楽部用地内遺跡の調査—
（奈良大学考古学研究室調査報告書第13集） …… 1989
菅原遺跡調査会・奈良大学考古学研究室
菅原遺跡 —平城京西方丘陵基壇建物跡の発掘調査—
（奈良大学平城京発掘調査報告書第１集） …… 1982
奈良県教育委員会 平城京左京四条二坊一坪 …… 1987

［橿原考古学研究所］

川西町三宅町式下中学校組合教育委員会
三宅町宝院遺跡発掘調査報告書 —式下中学校体育館建設事前調査— …… 1990
橿原考古学研究所 橿原市沼山古墳・益田池堤 （奈良県文化財調査報告書第48集） …… 1985
—— 生駒郡斑鳩町西里遺跡 （奈良県文化財調査報告書第50集） …… 1986
—— 平城京左京三条四坊十二坪発掘調査報告 （奈良県文化財調査報告書第52集） …… 1987
—— 橿原市小槻遺跡 （奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第50冊） …… 1986
—— 榛原町下井足遺跡群 （奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第52冊） …… 1987
—— 榛原町野山遺跡群II （奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第59冊） …… 1989
—— 橿原考古学研究所年報11 —昭和59年度（1984）— …… 1985
—— 橿原考古学研究所年報13 —昭和61年度（1986）— …… 1987
—— 橿原考古学研究所紀要考古学論攷 第12冊 …… 1987
—— 橿原考古学研究所紀要考古学論攷 第13冊 …… 1988
—— 奈良県遺跡調査概報（第一分冊） 1983年度 …… 1984
—— 奈良県遺跡調査概報（第二分冊） 1983年度 …… 1984
—— 奈良県遺跡調査概報（第一分冊） 1985年度 …… 1986
—— 奈良県遺跡調査概報（第二分冊） 1985年度 …… 1986
—— 奈良県遺跡調査概報（第一分冊） 1986年度 …… 1989
—— 奈良県遺跡調査概報（第二分冊） 1986年度 …… 1989
—— 榛原町石田１号墳 —（付）榛原町石田鳥羽遺跡の調査 榛原町栗谷採集の須恵器
奈良県出土のミニチュア炊飯具— （奈良県文化財調査報告書第44集） …… 1985
—— 大和郡山市松尾寺 （奈良県文化財調査報告書第53集） …… 1987
高取町教育委員会 市尾・新淵古墳群発掘調査報告 —付 寺崎西辰己遺跡発掘調査報告—
（高取町文化財報告第７冊） …… 1988
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
大和を掘る —1988年度発掘調査速報展IX— …… 1989
—— 大和考古資料目録 —宇陀の縄文土器と石器— 第14集 …… 1987

山添村教育委員会　奈良県山辺郡山添村大川遺跡　—縄文時代早期遺跡の発掘調査報告書—　……　1989

［大阪府］

雪野山古墳発掘調査団
雪野山古墳　—第１次発掘調査概報—　……　1990

㈶枚方市文化財研究調査会
図録　枚方市の遺跡　……　1988

［岡山県］

瀬戸内考古学研究所　播磨江ノ上経塚発掘調査報告書　（瀬戸内考古学研究所調査報告第１輯）　……　1988

［香川県］

本州四国連絡橋公団・香川県教育委員会
瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報（VI）
—初田遺跡・ヤケヤマ遺跡・大浦浜遺跡・長崎通り遺跡・長崎古墳—　……　1983

［愛媛県］

長尾町教育委員会　椋の木古墳・大石北谷古墳　調査報告書　……　1989

［福岡県］

宗像市教育委員会　宗像大穂町町口Ⅰ　（宗像市文化財調査報告書第13集）　……　1983
——　宗像朝町山ノ口Ⅰ　（宗像市文化財調査報告書第14集）　……　1984
——　宗像武丸皆真庵　（宗像市文化財調査報告書第15集）　……　1988
——　宗像浦谷古墳群II　（宗像市文化財調査報告書第16集）　……　1988
——　宗像武丸原　—福岡県宗像市大丸字武丸字原所在遺跡の調査—
（宗像市文化財調査報告書第17集）　……　1988
——　久原遺跡　—概報古代宗像をさぐる—　（宗像市文化財調査報告書第19集）　……　1988
——　宗像武丸町添遺跡　（宗像市文化財調査報告書第20集）　……　1989
——　東郷高塚Ⅰ　—福岡県宗像市日の里所在前方後円墳の調査報告—
（宗像市文化財調査報告書第21集）　……　1989
——　宗像考古資料展　—沖ノ島祭祀を支えた古代むなかた族—　……　1988

［大分県］

大分県教育委員会　下郡桑苗遺跡　—七歩川河川改修工事に伴う発掘調査報告書—
（大分県文化財調査報告書第80輯）　……　1989
——　昭和63年度大分県内遺跡詳細分布調査概報８　—仮宮遺跡・長野前遺跡・
カヂヤゾノ遺跡・吉松遺跡Ｄ地区・塩屋遺跡・上田ヶ森遺跡・喜福寺遺跡・
下堀田遺跡・鴨川遺跡・小迫辻原遺跡・綱井下平遺跡—　……　1989

［熊本県］

熊本県文化財保護協会
七ツ江カキワラ貝塚・竹の下貝塚（熊本県文化財調査報告第79集）　……　1986

熊本県教育委員会　大丸・藤ノ迫遺跡　—九州縦貫自動車道（八代～人吉）建設に伴う埋蔵文化財調査—
（熊本県文化財調査報告第80集）　……　1986

［大学埋文関係・大学考古学研究室］

北海道大学農学部附属演習林
北大演習林80年 …… 1981

北海道大学文学部附属北方文化研究施設
北方文化研究第17号 …… 1985
—— 北方文化研究第18号 …… 1987
—— 北方文化研究第19号 …… 1988
—— 北方文化研究第20号 …… 1989

札幌大学 札幌大学女子短期大学部紀要第９号 …… 1987

弘前大学考古学研究会
弘前大学考古学研究第２号 …… 1983

東北学院大学東北文化研究所
北方日本海文化の研究
（東北学院大学東北文化研究所紀要第16号） …… 1984

東北大学文学部考古学研究室
考古学資料集２ ＩＷＡＴＯ …… 1978
—— 考古学資料集４ ＭＯＳＡＮＲＵ …… 1982
—— 東北大学考古学研究報告１ …… 1985

東北大学埋蔵文化財調査委員会
東北大学埋蔵文化財調査年報１ …… 1985
—— 東北大学埋蔵文化財調査年報２ …… 1986
—— 東北大学埋蔵文化財調査年報３ …… 1990

宇都宮大学考古学研究会
峰考古 —宇都宮大学考古学研究会会誌第３号— …… 1981
—— 峰考古 —宇都宮大学考古学研究会会誌第４号— …… 1983

東京大学文学部 栄浦第一遺跡 …… 1985

法政大学文学部考古学研究室
福島県双葉郡浪江町本屋敷古墳群発掘調査概報３ …… 1984

法政大学 法政大学多摩校地遺跡群Ⅰ —Ａ地区— …… 1986
—— 法政大学多摩校地遺跡群II —Ｇ地区— …… 1986
—— 法政大学多摩校地遺跡群III —Ｃ・Ｒ地区— …… 1988

立正大学文学部考古学研究室
考古学研究室彙報第23号 …… 1986
—— 考古学研究室彙報第24号 …… 1988

立正大学文学部考古学研究室
武蔵・熊ケ谷東遺跡 …… 1986

立正大学熊谷校地遺跡調査室
遺跡調査室年報IV —昭和58年度～昭和60年度— …… 1986

立正大学文学部考古学研究室
江戸・仙台坂遺跡（Ⅰ） —仙台藩主松平（伊達）陸奥守下屋敷における味噌
醸造所跡の第１次調査— …… 1988

信州大学 栃原岩陰遺跡発掘調査報告書 昭和58年度 …… 1984

金沢大学文学部考古学研究室
金沢城の発掘—藤右衛門丸北側法面裾部発掘報告—
（『金沢大学日本海域研究所報告』第18号別刷） …… 1986

金沢大学文学部考古学研究室
金大考古第14号 …… 1987
―― 金大考古第15号 …… 1988
―― 金大考古第16号 …… 1989
―― 金大考古第17号 …… 1989
―― 金大考古第18号 …… 1990
金沢大学総合移転実施特別委員会・遺跡調査委員会
角間 ―金沢大学総合移転用地内埋蔵文化財調査報告― …… 1989
和歌山県教育委員会・和歌山大学
和歌山大学移転統合地発掘調査報告書 …… 1983
奈良大学文学部文化財学科
文化財学報第４集 …… 1986
―― 文化財学報第５集 …… 1987
―― 文化財学報第６集 …… 1988
奈良教育大学古文化財教育研究室
古文化財教育研究報告第10号 …… 1981
京都大学文学部考古学研究室
丹波周山窯址 …… 1982
京都大学埋蔵文化財研究センター
京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和59年度 …… 1987
―― 京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和60年度 …… 1987
―― 京都大学構内遺跡調査研究年報 1987年度 …… 1990
同志社大学考古学研究室・明石市教育委員会
明石市域の遺跡詳細分布調査（Ⅰ） ―1984・1985年度の調査― …… 1987
同志社大学校地学術調査委員会
公家屋敷二条家東辺地点の調査 ―同志社同窓会館・幼稚園新築に伴う調査―
（同志社大学校地学術調査委員会調査資料№20） …… 1988
―― 大本山相国寺境内の発掘調査Ⅱ（同志社大学校地学術調査委員会調査資料№21） …… 1988
―― 同志社大学徳照館地点・新島会館地点の発掘調査
（同志社大学校地学術調査委員会調査資料№22） …… 1990
同志社大学文学部文化学科
園部垣内古墳 （同志社大学文学部考古学調査報告第６冊） …… 1990
―― 伊木力遺跡 ―長崎県大村湾沿岸における縄文時代低湿地遺跡の調査―
（同志社大学文学部考古学調査報告第７冊） …… 1990
大阪大学南原古墳調査団
長法寺南原古墳 …… 1983
大阪大学 待兼山遺跡 ―大阪大学待兼山遺跡発掘調査団編― …… 1984
大阪大学南原古墳調査団
長法寺南原古墳Ⅲ …… 1985
大阪大学文学部国史研究室
竪穴式石室の地域性の研究 …… 1986
大阪大学鳥居前古墳調査団
鳥居前古墳 …… 1987
大阪大学埋蔵文化財調査委員会
待兼山遺跡Ⅱ …… 1988

大阪大学文学部考古学研究室

鳥居前古墳　―総括編―　…… 1990

―― 日本古代葬制の考古学的研究　―とくに埋葬姿勢と葬送儀礼との関わり―　…… 1990

大阪大学南原古墳調査団

長法寺南原古墳IV　…… 1990

関西大学文学部考古学研究室

関西大学考古学研究紀要５　…… 1987

岡山大学埋蔵文化財調査室

岡山大学津島北地区小橋法目黒遺跡（ＡＷ14区）の発掘調査
（岡山大学構内遺跡発掘調査報告第１集）　…… 1985

―― 岡山大学津島地区遺跡群の調査II（農学部構内ＢＨ13区他）
（岡山大学構内遺跡発掘調査報告第２冊）　…… 1986

―― 岡山大学構内遺跡調査研究年報１　昭和58年度　…… 1985

―― 岡山大学構内遺跡調査研究年報２　昭和59年度　…… 1985

―― 岡山大学構内遺跡調査研究年報３　1985年度　…… 1987

―― 岡山大学構内遺跡調査研究年報４　1986年度　…… 1987

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

岡山大学構内遺跡調査研究年報５　1987年度　…… 1988

―― 岡山大学構内遺跡調査研究年報６　1988年度　…… 1989

―― 岡山大学構内遺跡調査研究年報７　1989年度　…… 1990

―― 鹿田遺跡Ⅰ　―医学部附属病院外来診療棟改築およびＮＭＲ―ＣＴ室新築に伴う
発掘調査―　（岡山大学構内遺跡発掘調査報告第３冊）　…… 1988

―― 鹿田遺跡II　―医療技術短期大学部校舎新営に伴う発掘調査―
（岡山大学構内遺跡発掘調査報告第４冊）　…… 1990

広島大学統合移転地埋蔵文化財調査委員会

広島大学統合移転地埋蔵文化財発掘調査年報VI　…… 1988

―― 広島大学統合移転地埋蔵文化財発掘調査年報VII　…… 1989

―― 広島大学統合移転地埋蔵文化財発掘調査年報VIII　…… 1990

順正短期大学運動場建設事業埋蔵文化財調査委員会

備中松山城関連遺跡　―順正短期大学運動場建設に伴う発掘調査―　…… 1986

山口大学埋蔵文化財資料館

山口大学構内遺跡調査研究年報II　…… 1985

―― 山口大学構内遺跡調査研究年報III　…… 1985

―― 山口大学構内遺跡調査研究年報IV　…… 1985

―― 山口大学構内遺跡調査研究年報Ｖ　…… 1986

―― 山口大学構内遺跡調査研究年報VI　…… 1987

―― 山口大学構内遺跡調査研究年報VII　…… 1988

―― 山口大学構内遺跡調査研究年報VIII　…… 1990

愛媛大学法文学部考古学研究室

三間高校校庭遺跡の調査
（『三間町三間地区遺跡詳細分布調査報告書』1989　３月抜刷）　…… 1989

愛媛大学埋蔵文化財調査室

鷹子・樽味遺跡の調査　（愛媛大学埋蔵文化財調査報告Ⅰ）　…… 1989

愛媛大学法文学部考古学研究室・愛媛大学埋蔵文化財調査室

文京遺跡第８・９・11次調査　―文京遺跡における縄文時代遺跡の調査―
（愛媛大学埋蔵文化財調査報告II）…… 1990

［英文報告書］
HIROAKI OKADA 他　THE HOT SPRINGS VILLAGE SITE 2 …… 1976
――　THE HOT SPRINGS VILLAGE SITE 3 …… 1979
――　THE HOT SPRINGS VILLAGE SITE 4 …… N, D,
――　THE HOT SPRINGS VILLAGE SITE 5 …… 1986
――　The Qaluyaarmiut …… 1982
信州大学人文学部比較文化論研究室
MTONGWE …… 1986

［道内博物館その他］
北海道開拓記念館　民族調査報告書　資料編Ｉ　（北海道開拓記念館調査報告第２号）…… 1973
――　民族調査報告書　資料編II　（北海道開拓記念館調査報告第５号）…… 1973
――　民族調査報告書　資料編III　（北海道開拓記念館調査報告第８号）…… 1975
――　野幌丘陵とその周辺の自然と歴史　（北海道開拓記念館研究報告第６号）…… 1981
――　二ツ岩　（北海道開拓記念館研究報告第７号）…… 1982
――　高木１遺跡　（北海道開拓記念館研究報告第９号）…… 1989
――　北海道開拓記念館調査報告第４号～第29号　（欠５・７・８・26号）…… 1973-1990
――　北海道開拓記念館研究年報第１号～第18号　（欠15号）…… 1972-1990
――　ナウマン象化石発掘調査報告書 …… 1971
――　札苅　―北海道上磯郡木古内町における縄文時代晩期土壙墓の調査― …… 1976
名寄市郷土資料室　名寄市郷土資料報告第４集 …… 1989
紋別市教育委員会・紋別郷土研究会
もうぺっと７ …… 1976
――　もうぺっと13 …… 1982
――　もうぺっと14 …… 1983
利尻町立博物館　利尻町立博物館年報第３集 …… 1984
――　利尻町立博物館年報第７集 …… 1988
――　利尻町立博物館年報第８集 …… 1989
釧路市立博物館　釧路市立博物館紀要第10輯 …… 1985
――　釧路市立博物館紀要第11輯 …… 1986
――　釧路市立博物館紀要第12輯 …… 1987
――　釧路市立博物館紀要第14輯 …… 1989
――　釧路市立博物館紀要第15輯 …… 1990
根室市博物館開設準備室
根室市博物館開設準備室紀要第２号 …… 1988
――　根室市博物館開設準備室紀要第３号 …… 1989
――　根室市博物館開設準備室紀要第４号 …… 1990
根室市教育委員会　根室市の自然と文化財 …… 1987
浦幌町郷土博物館　浦幌町郷土博物館報告第27号 …… 1986
――　浦幌町郷土博物館報告第28号 …… 1986
――　浦幌町郷土博物館報告第29号 …… 1987
――　浦幌町郷土博物館報告第30号 …… 1987

帯広百年記念館　帯広百年記念館紀要第１号 …… 1983
―― 帯広百年記念館紀要第２号 …… 1984
―― 帯広百年記念館紀要第４号 …… 1986
―― 帯広百年記念館紀要第７号 …… 1989
―― 帯広百年記念館紀要第８号 …… 1990
苫小牧市博物館　年報　昭和60年度版 …… 1985
新冠町教育委員会　アイヌ民俗文化調査報告（Ⅰ）　（新冠町郷土資料館調査報告書１） …… 1989
北海道第四紀研究所　西股　―函館市字紅葉山西股遺跡発掘調査報告書― …… 1974

［道外博物館・美術館］

八戸市博物館　図録青森県の貝塚 …… 1988
―― 八戸市博物館研究紀要第１号 …… 1985
―― 八戸市博物館研究紀要第２号 …… 1986
―― 八戸市博物館研究紀要第３号 …… 1987
―― 弥生時代　―米作りの始まる頃― …… 1986
―― 縄文の美　―是川中居遺跡出土品図録土器編―　（目で見る八戸の歴史２） …… 1985
―― 縄文の美　―是川中居遺跡出土品図録第２集―　（目で見る八戸の歴史５） …… 1988
―― 掘りおこされた南部氏の城　根城　（目で見る八戸の歴史６） …… 1989
―― 縄文時代の馬淵川 …… 1985
東北歴史資料館　東北歴史資料館研究紀要第12巻 …… 1986
―― 東北歴史資料館研究紀要第13巻 …… 1987
―― 東北歴史資料館研究紀要第14巻 …… 1988
―― 里浜貝塚Ⅰ　―宮城県鳴瀬町宮戸島里浜貝塚西畑地点の調査・研究Ⅰ―
（東北歴史資料館資料集５） …… 1982
―― 里浜貝塚II　―宮城県鳴瀬町宮戸島里浜貝塚西畑地点の調査・研究II―
（東北歴史資料館資料集７） …… 1983
―― 里浜貝塚III　―宮城県鳴瀬町宮戸島里浜貝塚西畑地点の調査・研究III―
（東北歴史資料館資料集９） …… 1984
―― 里浜貝塚VII　―宮城県鳴瀬町宮戸島里浜貝塚西畑北地点の調査―
（東北歴史資料館資料集22） …… 1988
―― 宮城県の貝塚　（東北歴史資料館資料集25） …… 1989
東北歴史資料館・石器文化談話会
馬場壇Ａ遺跡III　―前期旧石器時代の研究―
（東北歴史資料館資料集26） …… 1989
群馬県立歴史博物館　群馬の古鏡 …… 1980
―― 新発見の考古資料　―発掘された古代の水田― …… 1980
群馬県立歴史博物館　群馬県立歴史博物館紀要第２号 …… 1981
―― 群馬県立歴史博物館紀要第３号 …… 1982
―― 群馬県立歴史博物館紀要第４号 …… 1983
―― 群馬県立歴史博物館紀要第６号 …… 1985
―― 群馬県立歴史博物館紀要第８号 …… 1987
―― 群馬県立歴史博物館年報第５号　昭和58年度版 …… 1984
―― 群馬県立歴史博物館年報第６号　昭和59年度版 …… 1985
―― 群馬県立歴史博物館年報第９号　昭和62年度版 …… 1989
―― 群馬県立歴史博物館調査報告書第１号　昭和59年度 …… 1985

―― 群馬県立歴史博物館調査報告書第３号　昭和61年度 …… 1987
国立民族学博物館 国立民族学博物館展示案内 …… 1986
岡山市立オリエント美術館
岡山市立オリエント美術館研究紀要１ …… 1981
―― 岡山市立オリエント美術館研究紀要３ …… 1983
―― 岡山市立オリエント美術館研究紀要４ …… 1985
―― 岡山市立オリエント美術館研究紀要５ …… 1986
―― 岡山市立オリエント美術館研究紀要８ …… 1988
―― 岡山市立オリエント美術館研究紀要９ …… 1989

［抜刷・その他］

梅原達治 北海道における農耕の起源（予報）　―文部省科学研究費による― …… 1982
大参義一・佐々木明 栃原岩陰遺跡の考古学的概観
（『信州大学人文学部人文科学論集』第20号別刷） …… 1986
―― 縄文時代の老いとその意味
―縄文人口論と長野県南佐久郡北相木村栃原岩陰遺跡―
（『信州大学人文学部「老いとその意味」〈特定研究報告書〉』別刷） …… 1987
西野吉幸 武生市杉町遺跡の採集遺物について （『福井考古学会会報』第18号抜刷） …… 1987
平口哲夫 骨角牙器 （石川県能都町『真脇遺跡』別刷） …… 1986
―― 富山湾沿岸における縄文時代のイルカ捕獲活動 （『大境』第10号抜刷） …… 1986
―― 北陸の考古学Ⅱ　縄文時代のイルカ捕獲活動
（『石川考古学研究会会誌』第32号別刷） …… 1989
―― イルカの捕獲から廃棄まで （石川県能都町『真脇遺跡』別刷） …… 1989
古川知明・石原正敏 アメリカ式石鏃に関する一考察 （『新潟市文化財調査報告書　六地山遺跡
―1982年発掘調査を中心に―』別刷） …… 1986
北陸旧石器文化研究会・近畿旧石器交流会
日本海地域における旧石器時代の東西交流　―国府系・立野ヶ原系石器群をめぐる
諸問題―発表要旨 …… 1986
松井章 古代日本海地方と「サケ・マス論」 （『季刊考古学』第15号複写） …… 1986
日本文化財科学会 日本文化財科学会大会研究発表要旨 …… 1987
ジャパン通信社 月刊文化財発掘・出土情報　1983・１　1983・７～1991・３　別冊索引２・３・４・５・７・８

あとがき

平成２年度は，幸運にも大型遺跡に遭遇しないで済んだ。また，今年度からの基本的な方針として，もし遺跡が確認されても，多少の工事変更でその地点が残される場合には，出来るだけ破壊を避ける方針を貫いた。工事の範囲が狭く部分的で，かつ掘削深度が浅い場合にはこうした方針が有効である。これまで北海道大学の農場敷地であった北26条西10丁目を含む通称タコの頭地区は，札幌市などに売却され，札幌市の埋蔵文化財センターの手によって本年度から行政発掘がなされている。すでに擦文時代の住居群が２層にわたって発見され，良好な資料が得られている。札幌団地構内で発見されている同時期の資料を解析するためにも重要なデータとなるものが多く，今後の経過を大いに期待して注目したい。

調査室に関連するセクションの人々の異動が発表されている。本部施設部の施設部長地引宏氏が公立学校共済組合本部の技監に，同企画課長山路俊雄氏は群馬大学の施設部長として赴任されることとなった。御活躍と御多幸をお祈りしたいと思う。

平成３年３月末日　　吉崎　昌一

平成２年度
北海道大学埋蔵文化財プロジェクト委員構成

朝日田　康司　（農学部　家畜飼養学講座　教授）
石　本　聿利　（理学部　生物化学講座　助教授）
羽田野　正隆　（文学部　基礎文化論講座　教授）
林　　謙作　（文学部　北方文化研究施設　助教授）
吉　崎　昌一　（文学部　基礎文化論講座　助教授）（主任）

北海道大学埋蔵文化財調査室（責任者　吉崎昌一）
北海道札幌市北海道大学内（施設部気付）
電話　011-716-2111　内線 2671，3548
（FAX 011-758-7531　人類学吉崎研究室あて）

北大構内の遺跡　9

平成2年度（1990年度）

1991年発行

発行所　北海道大学（埋蔵文化財調査室）
札幌市北区北8条西5丁目

編集者　吉崎昌一

印刷所　(株)中西印刷

HOKKAIDO UNIVERSITY CAMPUS SITES/1991

北大構内の遺跡

9

北海道大学